

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	02行旅死亡人等取扱事務
細事業名	01 行旅死亡人等取扱事務			決算書 P.122
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
156千円	158千円	2千円	98.7%	191千円
目的	市内において、旅行中に病気になり救護者がいない方や死亡し引取者のいない方に対し、縁故者に代わって援助措置を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づくもの 12千円 身元不明により引取り手がない死亡人は、葬祭・埋葬する者がいないため、行旅病人及行旅死亡人取扱法により、市が取扱うことが規定されている。 平成25年3月に葬儀を行った身元不明の遺体(1人)について、平成25年4月に官報公告を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 官報掲載料 12千円 <p>○墓地、埋葬等に関する法律に基づくもの 144千円 埋葬又は火葬を行う者がいない遺体について、墓地、埋葬等に関する法律により、市がこれを行うことが規定されている。 京丹後警察からの聞きとり及び調査を行った結果、死体の埋葬又は火葬を行う者が存在しないと判明した方1人について、平成25年12月に火葬、葬祭を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遺骨保管謝金 20千円 消耗品費(棺、着物、骨箱等) 48千円 死体検案書作成手数料 30千円 遺体搬送料 13千円 火葬料 23千円 遺体処置料 10千円 			
主な財源	負担金 行旅死亡人取扱費負担金			137千円
評価・課題等	○行旅病人及行旅死亡人取扱法、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、適正に葬祭等を執行できた。 ○遺骨を保管していただける寺院等を探すのが難しい状況にあるため、引き続き、寺院等の協力を得ながら滞りなく葬祭等を執行できるよう努める必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	03くらしの資金貸付事業												
細事業名	01 くらしの資金貸付事業			決算書 P.122												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
3,679千円	3,680千円	1千円	99.9%	6,130千円												
目的	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、くらしのための緊急に必要なとする資金の貸付を行い、自立更生及び生活意欲の促進を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。</p> <p>○くらしの資金貸付金 3,550千円</p> <table border="1"> <tr> <td>【実績】</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>52件</td> <td>59件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td>39件</td> <td>56件</td> <td>38件</td> </tr> </table> <p>○くらしの資金貸付金管理システム保守委託料 126千円</p> <p>○需用費(消耗品費) 3千円</p>				【実績】	H23	H24	H25	申請件数	52件	59件	44件	貸付件数	39件	56件	38件
【実績】	H23	H24	H25													
申請件数	52件	59件	44件													
貸付件数	39件	56件	38件													
主な財源	諸収入 くらしの資金貸付金元金収入			3,550千円												
評価・課題等	○一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○貸付支援だけでなく就労支援など、より一層関係部署及び関係機関と連携を図り、世帯の自立に向けた生活支援をより効果的に進めていく必要がある。															
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	05人権啓発事業
細事業名	01 人権啓発推進事業			決算書 P.124
総合計画	基本方針 V パートナーシップ都市	計画項目	③ 人権の尊重	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,191千円	1,197千円	6千円	99.4%	1,312千円
目的	市民一人ひとりが互いの違いを認め合い、人権が尊重される社会の実現に向け、啓発イベントや各種の関連事業を実施し、人権問題に対する市民の理解や意識の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>人権尊重思想の普及啓発を図り、人権問題に対する正しい認識を広めるため、人権啓発映画会、人権啓発総合イベント、人権講演会及び人権の花運動等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権啓発総合イベント「みんなのつどい」 367千円 (H25.11.30アグリセンター大宮) 参加者160人 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費(人権作文朗読、要約筆記・手話通訳等) 48千円 ・消耗品費、印刷製本費(事務用品、チラシ21,500枚作成等) 104千円 ・委託料(人権アニメ映画「おまえうまそうだな」上映業務) 168千円 ・使用料(看板、式典備品) 47千円 ○人権講演会(H25.12.8峰山総合福祉センター) 参加者60人 230千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(資料用封筒、用紙等) 5千円 ・印刷製本費(チラシ21,500枚作成) 65千円 ・委託料(講師派遣) 160千円 ○人権啓発映画会(H25.8.10アグリセンター大宮) 参加者100人 246千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(資料用封筒、事務用品) 3千円 ・印刷製本費(チラシ21,500枚作成) 65千円 ・委託料(「僕たちは世界を変えることができない」上映業務) 178千円 ○人権の花運動及び人権教室(幼稚園1園、小学校2校) 参加者105人 82千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(球根、培養土、鉢、額縁、記念品等) 76千円 ・通信運搬費(上記配送料) 6千円 ○その他 266千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費(職員研修等) 81千円 ・消耗品費(新聞購読料、職員研修資料代等) 84千円 ・印刷製本費、通信運搬費(啓発冊子作成1,000冊、送料) 101千円 			
主な財源	府補 人権問題啓発事業補助金(1/2)			286千円
	府委 地域人権啓発活動活性化事業委託金(10/10)			372千円
評価・課題等	<p>○市民が参加しやすいテーマや内容で事業を企画するとともに、積極的な広報を行うことで参加者の増加を図り、人権問題に対する市民の理解や意識の向上を図ることができた。</p> <p>○各事業とも若年者の参加が少なく、参加者の固定化傾向がみられるため、開催時期や、開催形式の工夫、地域に密着したタイムリーなテーマ(高齢者、こどもの人権など)とするなど、市民が参加しやすい事業を企画するとともに、積極的な広報などを行うことにより参加者の増加を図り、人権尊重の意識啓発を進める必要がある。</p>			
事業所管課	市民部/市民課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	05人権啓発事業
細事業名	02 人権啓発推進団体等負担金			決算書 P.124
総合計画	基本方針 V パートナーシップ都市	計画項目	③ 人権の尊重	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,760千円	1,768千円	8千円	99.5%	1,780千円
目的	市民一人ひとりが互いの違いを認め合い、人権が尊重される社会の実現に向け、人権啓発推進団体等の活動の活性化を図り、人権問題に対する市民の理解や意識の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>人権啓発の推進活動を行う団体へ負担金の支出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権啓発推進団体負担金 1,760千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市人権啓発推進協議会等負担金 900千円 市内全域を活動範囲とする各種団体、関係機関等29団体から構成される京丹後市人権啓発推進協議会等への負担金。 ・京丹後人権擁護委員協議会負担金 480千円 地域で積極的な人権擁護活動を行っている京丹後市人権擁護委員協議会への負担金。 主な活動：人権相談、SOSミニレターによるいじめ対策、人権の花運動など ・京丹後市保護司会負担金 320千円 犯罪や非行をした人の更生保護活動を行っている京丹後市保護司会(32人)への負担金。 主な活動：更生保護活動、犯罪予防活動、処遇支援活動、広報活動など ・社会を明るくする運動「市民のつどい」負担金 60千円 犯罪防止と更生保護の全国運動である「社会を明るくする運動」への負担金。 主な活動：中学生作文朗読、更生保護に関する映画の上映 			
主な財源				
評価・課題等	<p>人権啓発推進団体の活動を活性化することにより、人権問題に対する市民の理解や意識の向上が推進できた。</p>			
事業所管課	市民部/市民課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	06民生委員・児童委員活動事業
細事業名	01 民生児童委員活動事業			決算書 P.124
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
21,834千円	21,894千円	60千円	99.7%	22,157千円

目的	民生児童委員活動を支援するとともに、活動に対して補助金を交付し、民生児童委員活動の充実を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	○報償費（退任委員記念品代 86人）	172千円						
	○旅費（先進地視察職員随行旅費等）	485千円						
	○需用費	259千円						
	消耗品費（感謝状並びに委嘱状伝達式ステージ花代等）	40千円						
	燃料費（研修会等バス燃料代）	63千円						
	印刷製本費	156千円						
	○委託料（各種視察研修バス運転委託料）	99千円						
	○使用料及び賃借料	258千円						
	自動車借上料（全員研修会、伝達式バス借上料）	252千円						
	有料道路通行料	6千円						
○負担金、補助及び交付金	20,561千円							
	各単位民生児童委員協議会活動費補助金							
	峰山町	4,103千円						
	大宮町	3,239千円						
	網野町	4,622千円						
	丹後町	2,671千円						
	弥栄町	1,958千円						
	久美浜町	3,968千円						
	*各単位民生児童委員協議会委員数 (単位：人)							
	区 分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
	平成25年11月30日まで	39	31	44	25	18	38	195
	平成25年12月1日から	40	31	45	26	19	38	199
主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金	11,412千円					
	府補	民生委員協議会会長活動費補助金	72千円					
	府補	民生委員協議会地域福祉活動促進費補助金	710千円					
評価・課題等	○活動に対する補助金を交付することで、民生児童委員活動の充実が図られ、地域福祉が推進された。 ○民生児童委員に求められる知識は非常に幅広く、さらに制度改正が頻繁に行われる中、委員の資質向上を図るため、今後も適宜、研修会の実施や情報提供、また委員同士の意見交換の場の提供を行っていく必要がある。							
	事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	06民生委員・児童委員活動事業
細事業名	02 民生委員推薦会運営事業			決算書 P.124
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
919千円	1,042千円	123千円	88.1%	1,042千円

目的	3年毎の民生委員改選に伴う、民生委員推薦会の円滑な運営を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	京丹後市民生委員推薦会 民生委員推薦会委員（14人、うち職員2人） 年2回開催、出席人数：延べ21人						
	京丹後市民生委員推薦準備会 *各推薦準備会委員人員 (単位：人)						
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
	14	12	12	12	11	14	75
	年20回開催、出席人数：延べ204人						
	○報酬（民生委員推薦会委員報酬）	84千円					
	4千円/回×21人						
	○報償費（民生委員推薦準備会謝礼）	816千円					
	4千円/回×204人						
	○旅費	19千円					
民生委員推薦会委員費用弁償	9千円						
民生委員一斉改選説明会職員旅費	10千円						
主な財源	府補	民生委員推薦会事業費補助金	22千円				
評価・課題等	民生委員の改選の年に当たり、市民生委員推薦会等を実施し、186人の民生委員・児童委員と13人の主任児童委員の計199人を円滑に選任することができた。						
	事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	07援護事業
細事業名	01 戦没者追悼事業			決算書 P.124
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
842千円	864千円	22千円	97.4%	972千円

目的	戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに平和を祈念する。
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに平和を祈念するため京丹後市戦没者追悼式を実施した。また、全国戦没者追悼式、京都府戦没者追悼式へ参列した。</p> <p>○京丹後市戦没者追悼式 開催日：平成25年11月15日（金） 場所：京都府丹後文化会館 参列遺族数：264人 報償費（司会者謝金） 10千円 需用費（祭壇ほか） 194千円 役務費（クリーニング代ほか） 31千円 委託料（送迎使用市バス運転委託料） 21千円 使用料及び賃借料（送迎バス借上料（13台）ほか） 499千円</p> <p>○全国戦没者追悼式 開催日：平成25年8月15日（木） 場所：日本武道館（東京都） 参列遺族数：8人 旅費（市内各駅～京都駅までの参列者の旅費ほか） 74千円</p> <p>○京都府戦没者追悼式 開催日：平成25年10月10日（木） 場所：国立京都国際会館（京都市） 参列遺族数：67人 旅費（随員職員旅費及び担当者会議旅費） 13千円</p>
主な財源	府補 援護事務交付金（10/10） 27千円
評価・課題等	<p>○戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、世界の恒久平和等を願うことができた。</p> <p>○戦没者遺族の方の高齢化に伴い、京丹後市戦没者追悼式の参列者が減少していることから、今後式会場等について検討していく必要がある。</p>
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	08男女共同参画推進事業
細事業名	01 男女共同参画推進事業			決算書 P.126
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	④ 男女共同参画の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,633千円	1,735千円	102千円	94.1%	1,729千円

目的	意識啓発の取り組みを実施することにより、男女が互いにその人権を尊重し、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を実現する。
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>男女共同参画審議会、男女共同参画セミナー（男性の料理教室2回、DVを考えるつどい、ワーク・ライフ・バランス講演会、みんなのつどい）を開催し、意識啓発を図った。専門業者にカウンセラー派遣を委託し女性相談窓口の設置（毎月2回）を行ったほか、男女共同参画啓発冊子（小学校低学年向け）を作成、市内の小中学校へ配布を行った。</p> <p>○男女共同参画審議会（事業の進捗状況について、表彰について） 57千円 ・報酬（委員報酬 12人×1回） 52千円 ・旅費（委員費用弁償 8人×1回） 5千円</p> <p>○男女共同参画セミナー（講座2回32人、講演会3回299人） 398千円 ・報償費（講座、講演会、出演団体） 87千円 ・消耗品費、食糧費（事務用品、講師お茶代） 22千円 ・印刷製本費（チラシ21,500枚作成） 84千円 ・委託料（講演会） 203千円 ・通信運搬費（送料） 2千円</p> <p>○女性相談（毎月2回、相談者数延べ39人） 826千円 ・相談員派遣委託料（24回開設） 826千円</p> <p>○女性問題アドバイザー研修（研修者数6人） 73千円 ・講師派遣委託料（1回開催） 73千円</p> <p>○その他 279千円 ・消耗品費（事務用品等購入） 21千円 ・印刷製本費（啓発冊子の作成 5,000部） 210千円 ・修繕料（大宮庁舎内女性センター表示張替） 6千円 ・旅費（職員研修旅費） 42千円</p>
主な財源	府補 人権問題啓発事業費補助金（1/2） 181千円 府補 地域交流活性化支援事業費補助金（1/2） 18千円 府委 地域人権啓発活動活性化事業委託金（10/10） 161千円
評価・課題等	<p>○市民が興味を持てるわかりやすいテーマの設定、チラシの配付により、例年よりも多くの市民を集めることができた。</p> <p>○参加者が少ない傾向のある若年者や男性の参加を促すためのテーマの設定や開催方法を、より一層工夫していく必要がある。</p>
事業所管課	市民部／市民課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	09社会福祉協議会活動助成事業
細事業名	01 社会福祉協議会運営費補助金			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
71,924千円	71,924千円	0千円	100.0%	71,924千円

目的 社会福祉協議会の本所並びに5支所の事務員人件費等の補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、社会福祉活動の充実を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○社会福祉協議会運営費補助金 71,924千円
※社会福祉協議会の補助対象職員：18人

	補助対象職員数	補助金
H18	27人	96,054千円
H19	26人	92,116千円
H20	19人	73,740千円
H21	19人	73,740千円
H22	19人	73,740千円
H23	19人	73,740千円
H24	18人	71,956千円
H25	18人	71,924千円

市が策定した「地域福祉計画」と深く関連し、社会福祉協議会の目的である「地域福祉の推進」を福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取組を進めている。

主な財源

評価・課題等

○地域福祉のまちづくりの推進、充実、発展のために京丹後市社会福祉協議会の人件費を補助することで、社会福祉協議会の社会福祉活動の充実と円滑な協議会運営に寄与することができた。
○補助金等に関する基本方針に基づき、補助の目的、補助対象経費、補助率等を明確化する必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部/生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	10災害見舞金等事業
細事業名	01 災害見舞金等事業			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
80千円	80千円	0千円	100.0%	400千円

目的 被災された市民に対し見舞金を支給し、被災者の生活の安定を支援する。

主要な事務・事業及び成果の概要

京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害により被災された市民の方に対し、災害見舞金を支給した。

災害見舞金（火災、床上浸水によるもの）：3件 80千円

	全焼		半焼		部分焼		床上浸水	
	件数	千円	件数	千円	件数	千円	件数	千円
住家	0	0	1	30	0	0	1	20
非住家	1	30	0	0	0	0	0	0

主な財源

評価・課題等

京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害により被災された世帯主に災害見舞金を支給することで、急場をしのご資金として生活の安定を支援することができた。

事業所管課 健康長寿福祉部/生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	12健康と福祉のまちづくり審議会事業
細事業名	01 健康と福祉のまちづくり審議会事業			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
83千円	83千円	0千円	100.0%	227千円

目的 審議会で市長の諮問に応じた各福祉分野の調査、研究及び審議等を行い、市民の健康づくりと福祉の増進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○審議内容：第2次ひとり親家庭等自立促進計画について
 審議会委員：8人
 開催日：平成25年5月24日、平成25年7月5日、平成25年9月27日
 委員任期：平成25年3月21日～平成26年3月20日まで

- ・委員報酬 64千円 (4,000円×支払対象延べ16人)
- ・費用弁償 14千円
- ・需用費 5千円

主な財源

評価・課題等

○ひとり親家庭等を取り巻く現状と課題、第1次計画の実施状況と評価に基づき、第2次計画の施策について審議し、計画を更新することができた。
 ○審議会委員に無作為抽出の方法による公募委員2人を加えたことで、多くの意見をもとに議論することができた。

事業所管課 健康長寿福祉部／生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	13峰山総合福祉センター管理事業
細事業名	01 峰山総合福祉センター管理事業			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
12,720千円	12,776千円	56千円	99.5%	11,282千円

目的 福祉事務所としての施設の維持管理のほか、設備機能の充実を図ることで、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

- ・燃料費（空調用燃料等） 2,006千円
- ・光熱水費（電気使用料、上下水道使用料） 4,492千円
- ・日直代行業務委託料 1,547千円
- ・エレベーター保守点検委託料 662千円
- ・施設清掃業務委託料 314千円
- ・自家用電気工作物保安全管理業務委託料 271千円
- ・移動観覧席保守点検業務委託料 273千円
- ・空調設備保守点検業務委託料 230千円
- ・特殊建築物・設備定期報告業務委託料 200千円
- ・その他施設管理費（機械警備、施設修繕料、土地借上料ほか） 2,725千円

○峰山総合福祉センター利用実績

	利用件数	利用人数
コミュニティホール	333件	19,767人
研修室	167件	1,411人
和室1	104件	913人
和室2	91件	258人
合計	695件	22,349人

※利用件数、利用人数は、利用申請書により計上したものです。

主な財源 使用料 峰山総合福祉センター使用料 756千円

評価・課題等

○適正な施設の管理を行うことで、福祉事務所の機能維持を図るとともに、福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。
 ○施設の老朽化が進んでおり、今後修繕費等の増加が見込まれるため、修繕等が必要な優先箇所を調査し、計画的に整備する必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部／生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	14網野健康福祉センター-管理事業
細事業名	01 網野健康福祉センター-管理事業			決算書 P.128
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
3,797千円	3,866千円	69千円	98.2%	4,529千円
目的	住民の健康づくりまちづくりの推進を図るため、住民の窓口となる網野健康福祉センターを適切に維持管理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。			
	<p>○センター維持管理経費 3,797千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（トイレトーパー、血圧計記録用紙ほか） 77千円 ・光熱水費（電気、上下水道） 1,688千円 ・修繕料（空調機修理、エレベーター部品交換ほか） 197千円 ・通信運搬費（電話代） 130千円 ・浄化槽法定検査料（厨房棟） 5千円 ・施設清掃委託料（センター内清掃） 332千円 ・設備維持管理及び保守点検業務委託料 1,253千円 （自家用電気工作物保安管理、消防設備ほか） ・デマンド監視業務委託料 53千円 ・火災保険料（センター棟、厨房棟、車庫） 35千円 ・その他経費（清掃用具借上） 27千円 <p><施設の主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター分室 （介護に関する相談、支援、予防に関する事業） 指定通所介護事業所 （要介護者のデイサービス） 地域栄養支援センター （自炊困難者への配食サービス） 			
主な財源	使用料 公有財産使用料	187千円		
	諸収入 公衆電話代	3千円		
評価・課題等	<p>○住民の安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設としての管理運営の充実を図るため、維持管理を行った。</p> <p>○デマンド監視を導入し、こまめな節電に努めることで光熱水費の節減を図った。</p> <p>○本センターは、今後、経年劣化からエレベーターや空調機など機器の修繕経費が必要になるため、計画的な維持修繕をする必要がある。</p>			
事業所管課	市民部/網野市民局			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	16国民健康保険事業特別会計繰出金
細事業名	01 国民健康保険事業特別会計繰出金			決算書 P.130
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	② 医療保険制度の一層の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
393,691千円	393,691千円	0千円	100.0%	390,009千円
目的	国民健康保険事業を円滑に運営するために国民健康保険法及び国通知等に基づき一般会計から国民健康保険事業特別会計へ繰出すものであり、これにより国保財政の安定化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	国民健康保険事業を安定的に運営するために、国民健康保険法及び国通知等に基づき一般会計から国民健康保険事業特別会計に所要額を繰出した。			
	<p>○保険基盤安定繰出金 225,348千円 （185,061千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険税軽減分 低所得者に対する7割5割2割の法定軽減を公費で補てん<府3/4、市1/4> ・保険者支援分 (40,287千円) 保険税軽減の対象となった被保険者数に応じて、平均保険税の一定割合を補填<国1/2、府1/4、市1/4> <p>○出産育児一時金繰出金 15,620千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産育児一時金の2/3を繰出すもの（56件分） <p>○その他繰出金 152,723千円 （69,931千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政安定化事業繰出金 国保財政の安定化のために地方交付税措置された繰出金 ・事務費繰出金 (16,375千円) 国民健康保険事業の運営に必要な事務費に係る繰出金 ・国民健康保険事業特別会計支援分 (62,890千円) 国民健康保険事業の支援に係る繰出金 ・特別総合保健施設管理費 (3,527千円) 総合保健施設「ふれあい」（弥栄町溝谷）の施設管理費 			
主な財源	国負	国民健康保険基盤安定負担金（支援分）（1/2）		20,143千円
	府負	国民健康保険基盤安定負担金（軽減分）（3/4）		138,796千円
	府負	国民健康保険基盤安定負担金（支援分）（1/4）		10,072千円
評価・課題等				
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	17災害時要援護者支援事業
細事業名	01 災害時要援護者支援事業			決算書 P.130
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
221千円	221千円	0千円	100.0%	324千円
目的	災害時要援護者避難支援プランに基づき、避難行動要支援者台帳の継続的な管理を行い、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域の支援体制を確立する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 41千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 ○通信運搬費 77千円 ○委託料 103千円 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援システム保守委託料 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">災害が発生する可能性がある時、また、発生した場合、自力で避難所などの安全な場所へ避難することが困難な在宅の高齢者や障害のある方などを、地域の方が協力して助け合うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。</p> <p>※要援護者台帳登録者数：1,988人（平成26年3月1日現在）</p> <p><台帳共有先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会 ・民生児童委員 ・市の関係部署 <ul style="list-style-type: none"> 長寿福祉課・障害者福祉課、健康推進課、総務課、市民局、消防署 ・京丹後市社会福祉協議会 ・避難支援者 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○要支援者台帳を定期更新し整備することにより、災害時における要援護者の避難誘導等の体制を整えることができた。</p> <p>○年1回の定期更新を継続し地域住民の意識の向上を図るとともに、市の関係部署、関係機関及び関係団体との連携を強め、台帳を使った避難訓練の実施など、災害時の安心な体制整備を強化する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	18国民年金事務																												
細事業名	01 国民年金事務			決算書 P.130																												
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																												
1,599千円	1,603千円	4千円	99.7%	1,603千円																												
目的	国民年金未加入者の加入促進を図るとともに、被保険者の老後の生活の安定に寄与する。																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>年金に関する各種届出や申請等の受理及び審査を行うとともに、市民からのさまざまな年金に関する相談に対応した。また、年金受給権の確保や満額の年金が受給できるよう年金制度の周知を行った。</p> <p>あわせて、在日外国籍高齢者のうち老齢基礎年金の受給資格を得ることができなかった方へ特別給付金を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">○旅費</td> <td style="width: 50%;">国民年金事務説明会ほか</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">57千円</td> </tr> <tr> <td>○消耗品費</td> <td>本庁・市民局事務用品</td> <td></td> <td style="text-align: right;">8千円</td> </tr> <tr> <td>○通信運搬費</td> <td>進達書類郵送料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">94千円</td> </tr> <tr> <td>○扶助費</td> <td>外国籍高齢者特別給付金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,440千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月支給</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: right;">(480千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月支給</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: right;">(480千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4月支給</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: right;">(480千円)</td> </tr> </table>				○旅費	国民年金事務説明会ほか		57千円	○消耗品費	本庁・市民局事務用品		8千円	○通信運搬費	進達書類郵送料		94千円	○扶助費	外国籍高齢者特別給付金		1,440千円		8月支給	6人	(480千円)		12月支給	6人	(480千円)		4月支給	6人	(480千円)
○旅費	国民年金事務説明会ほか		57千円																													
○消耗品費	本庁・市民局事務用品		8千円																													
○通信運搬費	進達書類郵送料		94千円																													
○扶助費	外国籍高齢者特別給付金		1,440千円																													
	8月支給	6人	(480千円)																													
	12月支給	6人	(480千円)																													
	4月支給	6人	(480千円)																													
主な財源	国委	国民年金取扱事務委託金	159千円																													
評価・課題等	<p>○資格取得等の受付、保険料納付にかかる相談・保険料申請免除等の事務を適正に行い、国民年金未加入者や保険料未納者の減少に努め、年金受給権の確保に寄与することができた。また、外国籍高齢者への特別給付金の支給により、生活の維持・向上に寄与することができた。</p> <p>○年金制度は法改正が頻繁に行われるため、今後も日本年金機構との協力・連携を強化し、知識の向上と活用、適正な事務処理を行う必要がある。</p>																															
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課																															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	19支え合いの地域づくり推進事業
細事業名	01 支え合いの地域づくり推進事業			決算書 P.130
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
50千円	50千円	0千円	100.0%	50千円
目的	「支え合いの地域づくり推進委員会」において、支え合い、助け合えるよう具体的な施策を検討し、施策や事業の実現を図り、「京丹後市地域福祉計画」を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○支え合いの地域づくり推進事業 推進委員謝礼 50千円 推進委員会：8回開催 推進委員：10人 委員任期：平成25年4月1日～平成26年3月31日まで</p> <p>平成26年2月20日、検討結果を提言としてまとめ、市長に提出した。 *下記2つのテーマについて現状と課題を把握し、その対応策について提言 (提言内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 移動・交通手段の充実のために努力されたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド（需要対応）型交通の実用化に向けた検証が必要 ・地域の実情にあった移動・交通手段の確保対策の検討が必要 ・バスのすれ違いが困難な狭隘道路の拡幅整備が必要 など 地域づくりの担い手となる団塊世代の人材育成のために努力されたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・団塊世代が気軽に参加できる多様な活動機会の充実を図ることが必要 ・高齢者大学の事業の継続、拡充が必要 ・地域のリーダーを育成するために活動しやすい環境づくりが必要 など 			
主な財源				
評価・課題等	提言された内容の実施・実現に向け、社会福祉協議会や関係行政部署等に対して調整や働きかけを行い、地域福祉の向上に向けて取り組んだ。			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	21住宅手当緊急特別措置事業
細事業名	01 住宅手当緊急特別措置事業			決算書 P.130
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
20千円	20千円	0千円	100.0%	1,213千円
目的	就労能力及び常用就職の意欲のある離職者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対し住宅支援給付を行うことで、住宅を確保し生活の再建を支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○離職者住宅支援給付 2件申請があったが、内1件は申請取り下げがあり、内1件は審査の結果、要件に該当しないため不支給決定を行った。</p> <p>○消耗品費（事務経費） 20千円</p>			
主な財源	府補 緊急雇用対策基金事業補助金（10/10）			20千円
評価・課題等	住宅支援給付事業は国の生活困窮者施策の一環であり、ハローワーク及び社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、事業を行っているが、要件に該当する対象者がいなかった。引き続き、関係機関と連携しながら、広報等により制度を周知していく必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	24くらしとしごと寄り添い支援事業																										
細事業名	01 くらしとしごと寄り添い支援事業			決算書 P.130																										
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																										
33,397千円	33,449千円	52千円	99.8%	30,374千円																										
目的	寄り添い支援総合サポートセンターを設置し、相談を幅広く受け付けて、問題の自己解決が困難な方に対して、関係機関と連携した支援により、問題の解決を図る。																													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活困窮者自立促進支援モデル事業の採択を受けて、生活福祉課の『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター、市民課の市民相談室と多重債務相談・支援室、商工振興課の消費生活センターを1か所に集め、「寄り添い支援総合サポートセンター」を設置し、総合的な相談支援をワンストップに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共済費（臨時職員5人分） 1,561千円 ・ 賃金（臨時職員6人分（年度途中で「子どもの学習支援員」を追加）） 11,989千円 ・ 報償費（「寄り添い支援総合サポートセンター」開所記念シンポジウム講師料） 150千円 ・ 旅費（研修及び会議旅費） 616千円 ・ 需用費（相談室改修費、事務用品費、コピー代、光熱水費等） 8,959千円 ・ 役務費（フリーダイヤルを含む電話料金等） 1,280千円 ・ 委託料（各種セミナー、研修業務、中間的就労調査・研究等） 6,759千円 ・ 使用料及び賃借料（緊急一時宿泊用居室借上、自動車借上等） 1,337千円 ・ 備品購入費（パソコン及びネットワーク等情報機器購入） 746千円 <p style="text-align: right;">合計 33,397千円</p> <p>《活動状況》 ※引継には前年度終了したが、本年度になり再開となった人を含む</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">新規相談者数</th> <th colspan="2">支援対象者数</th> <th rowspan="2">支援終了者数</th> <th rowspan="2">就労者数</th> </tr> <tr> <th>前年度からの引継</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>108人</td> <td>95人</td> <td>31人</td> <td>36人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>118人</td> <td>234人</td> <td>132人</td> <td>203人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>207人</td> <td>167人</td> <td>-</td> <td>52人</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p>《セミナー等の状況》 仕事力アップ講座…参加希望10人、受講修了10人（内、就労者4人、次の訓練へ2人） 合宿型セミナー…説明会7人、受講修了4人（内、就労者2人、次の訓練へ1人） 社会参加活動支援（ボランティア）…10回中5回以上参加9人</p>				年度	新規相談者数	支援対象者数		支援終了者数	就労者数	前年度からの引継		H25	108人	95人	31人	36人	40人	H24	118人	234人	132人	203人	58人	H23	207人	167人	-	52人	32人
年度	新規相談者数	支援対象者数		支援終了者数			就労者数																							
		前年度からの引継																												
H25	108人	95人	31人	36人	40人																									
H24	118人	234人	132人	203人	58人																									
H23	207人	167人	-	52人	32人																									
主な財源	使用料 公有財産使用料（峰山総合福祉センター付属建物 光熱水費負担分） 248千円 国補 生活困窮者自立促進支援モデル事業補助金（10/10） 33,148千円																													
評価・課題等	○「寄り添い支援総合サポートセンター」の設置、また、くらしといのちの総合相談会等により、問題を抱える相談者を掘り起こすことができ、多くの支援に結び付いた。 ○生活と就労の結びつきは強く、就労困難者の就労が進まないことにより問題解決が困難となること多いことから、生活自立・社会自立・就労自立を図る支援を強化するとともに、関係機関と連携し就労につなげていく必要がある。																													
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																													

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	25臨時福祉給付金給付事業
細事業名	01 臨時福祉給付金給付事業			決算書 P.132
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
136千円	137千円	1千円	99.2%	0千円
目的	平成26年4月からの消費税率の引上げに際し、低所得者への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>臨時福祉給付金支給のための準備事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旅費（説明会等職員旅費） 37千円 ○ 需用費 93千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（ファイル等事務用品） 83千円 燃料費（説明会公用車燃料代） 10千円 ○ 使用料及び賃借料（有料道路通行料） 6千円 			
主な財源	国補 臨時福祉給付金給付事業補助金 135千円			
評価・課題等	臨時福祉給付金支給業務に関する説明会に出席し、給付準備を行った。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	50社会福祉総務一般経費	
細事業名	01 社会福祉総務一般経費			決算書	P.132
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
12,736千円	13,359千円	623千円	95.3%	13,497千円	
目的	福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費のほか、補助金を交付し、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進し、福祉の向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒等） 3,235千円 ○福祉事務所公用車管理経費 4,598千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 1,491千円（公用車車検、定期点検、修理費用） ・燃料費 2,019千円 ・役務費 764千円（自動車登録、自賠責保険料等） ・公課費 122千円（自動車重量税） ・公用車リース料 202千円（2台） ○社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング受講料（2人） 134千円 ○社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング研修旅費（2人） 167千円 場所：神奈川県葉山町（ロフォス湘南） ○普通旅費 85千円 ○母子家庭奨学金申請書に関する通知書郵送料 44千円 ○印刷機リース料等 341千円 ○その他経費（近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金ほか） 23千円 ○事務補助業務人材派遣委託料 187千円 ○臨時職員賃金（1人） 1,610千円 ○臨時職員社会保険料 243千円 ○ごみ処理手数料 43千円 ○社会福祉団体事業補助金 1,804千円 <ul style="list-style-type: none"> ・母子寡婦福祉会活動補助金 500千円 ・父子会補助金活動補助金 14千円 ・障害者団体への活動補助金 1,290千円 ○公用車事故修繕経費 222千円 				
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 国委 厚生労働統計調査事務委託金 15千円 国補 生活保護費補助金（10/10） 38千円 府補 援護事務交付金（10/10） 50千円 諸収入 市有自動車損害共済金 120千円 諸収入 自動車事故損害賠償金 102千円 				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉事務所の円滑な事務運営に資することができた。 ○福祉事務所の運営経費等について、一層の経費節減に努めていく必要がある。 ○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。 				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	02デ「イ」運営助成事業	
細事業名	01 デ「イ」運営助成事業			決算書	P.134
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
4,744千円	4,744千円	0千円	100.0%	4,744千円	
目的	障害や発達遅れのある児童に対し、療育指導や相談活動を行い、早期に発見し適切な支援を行う事業主体に補助することにより、円滑な事業実施と当該児童の福祉向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>社会福祉法人みねやま福祉会「さつき園」における通園・保護者支援・訪問活動・外来活動等の事業運営に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害児デイサービス事業補助金 4,744千円 <ul style="list-style-type: none"> 事業費： 29,265千円 補助金： 4,744千円 ・通園事業 利用者数 延べ 1,978人（3月末契約者数 65人） ・訪問活動 訪問数 延べ 64人 ・外来活動 参加者数 延べ 212人 				
主な財源					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○障害児デイサービス事業者が行う障害の早期発見、適切な療育指導の実施を支援することにより、発達遅れのある障害児の社会的自立を促進できた。 ○市の補助金等に関する基本方針に基づき、補助対象経費、補助率等を整理する必要がある。 				
事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	03心身障害者扶養共済制度掛金助成事業
細事業名	01 心身障害者扶養共済制度掛金助成事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
665千円	666千円	1千円	99.8%	648千円
目的	心身障害者の保護者が加入する京都府心身障害者扶養共済制度の掛金の一部を助成し、将来に対し保護者が抱く不安の軽減を図り、あわせて心身障害者の福祉の増進に資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>心身障害者の保護者が納入した京都府心身障害者扶養共済制度の1口目の掛金について、3分の1を助成した。 加入者等が生活保護受給対象者である場合や住民税所得割が非課税の場合には、京都府規則により掛金が全額免除されるため、住民税所得割が課税される加入者を対象に助成した。</p> <p>○心身障害者扶養共済制度掛金助成金 665千円 交付時期：毎年9月（4～9月分）及び3月（10～3月分） 対象者数：9月交付分…14人（交付額…340千円） 3月交付分…13人（交付額…325千円）</p>			
主な財源				
評価・課題等	京都府の減免措置に加え、加入者掛金の3分の1を市が助成することにより、加入者の掛金負担の軽減を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	04通所費等助成事業
細事業名	01 通所費等助成事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
3,124千円	3,145千円	21千円	99.3%	3,407千円
目的	共同作業所等に通所している利用者の通所に係る交通費及び給食費を助成し、障害者及びその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費及び給食費を助成することにより、経済的負担を軽減し、社会参加と訓練の促進に努めた。</p> <p>○共同作業所等通所費助成金 2,870千円 助成対象：施設通所のために利用する公共交通機関の運賃全額 延べ人数 647人（12事業所） 峰山共同作業所、ゆうゆう作業所、みねやま作業所、だるまハウス、四つ葉ハウス、ろむ、つばさ、すまいる、野田川作業所、あおぞら、みらい、おおみや共同作業所</p> <p>○共同作業所等給食費助成金 254千円 助成単価：1食につき50円 延べ食数 5,071食（11事業所）（1か月分） 峰山共同作業所、おおみや共同作業所、ゆうゆう作業所、みねやま作業所、だるまハウス、四つ葉ハウス、チューリップハウス、つばさ、あおぞら、ろむ、すまいる</p> <p>※平成25年3月分の助成をもって制度廃止</p>			
主な財源				
評価・課題等	障害者及びその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加の促進へつながり、障害者の自立生活を支援することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	07障害者等手当支給事業
細事業名	01 障害者等手当支給事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
28,661千円	28,662千円	1千円	99.9%	30,665千円

目的	常時介護を必要とする在宅の重度障害児者への手当支給及び重度障害児者を自宅で介護している介護者への支援金支給により経済的援助を行い、障害者福祉の向上に努める。
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。また、在宅で重度障害児者を介護する家族等への経済的支援策として、市独自制度の介護支援金を支給した。</p> <p>(市独自制度)</p> <p>○在宅障害者介護支援金 700千円</p> <p>8月支給分 13件 (平成25年7月基準日) 650千円</p> <p>2月支給分 1件 (平成26年1月基準日) 50千円</p> <p>(国制度)</p> <p>○障害児福祉手当 4,431千円</p> <p>手当月額：14,280円 (平成25年9月分まで)</p> <p>14,180円 (平成25年10月～)</p> <p>支給人数：延べ317人</p> <p>○特別障害者手当 23,530千円</p> <p>手当月額：26,260円 (平成25年9月分まで)</p> <p>26,080円 (平成25年10月～)</p> <p>支給人数：延べ914人</p> <p>※支給対象月：平成25年2月～平成26年1月 (年4回支給)</p> <p>ただし、資格喪失者に対しては随時支給</p>
主な財源	国補 特別障害者手当等給付費負担金 (3/4) 20,977千円
評価・課題等	手当・支援金の支給により、在宅重度障害児者等の経済的負担の軽減を図ることができた。
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	08じん臓機能障害者通院交通費助成事業
細事業名	01 じん臓機能障害者通院交通費助成事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,134千円	2,136千円	2千円	99.9%	3,000千円

目的	じん臓機能障害者が慢性透析療法による治療を受ける際の通院交通費について、助成金を交付することで、経済的な負担を軽減し、福祉の増進に努める。																																																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>慢性透析療法を行うため頻りに通院する必要がある障害者の交通費と医療機関通院証明書料の一部を助成し、経済的負担を軽減することにより、福祉の増進に努めた。</p> <p>○じん臓機能障害者通院交通費助成 1,917千円</p> <p>公共交通機関での通院にかかる交通費または片道20kmを超える自家用車での通院実費 (25円/km) のいずれかのうち、月10千円を上限としてその1/2を助成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>(内訳)</td> <td>実人数</td> <td>助成額</td> </tr> <tr> <td>峰山町</td> <td>2人</td> <td>42千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>7人</td> <td>317千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>6人</td> <td>135千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>5人</td> <td>101千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>1人</td> <td>60千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>25人</td> <td>1,262千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>46人</td> <td>1,917千円</td> </tr> </table> <p>○じん臓機能障害者通院証明書料助成金 217千円</p> <p>通院交通費助成に必要な医療機関の通院証明書の取得に対し、1回2千円を上限として助成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>(内訳)</td> <td>実人数</td> <td>助成額</td> </tr> <tr> <td>峰山町</td> <td>2人</td> <td>5千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>6人</td> <td>19千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>6人</td> <td>22千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>5人</td> <td>19千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>1人</td> <td>4千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>25人</td> <td>148千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45人</td> <td>217千円</td> </tr> </table>	(内訳)	実人数	助成額	峰山町	2人	42千円	大宮町	7人	317千円	網野町	6人	135千円	丹後町	5人	101千円	弥栄町	1人	60千円	久美浜町	25人	1,262千円	合計	46人	1,917千円	(内訳)	実人数	助成額	峰山町	2人	5千円	大宮町	6人	19千円	網野町	6人	22千円	丹後町	5人	19千円	弥栄町	1人	4千円	久美浜町	25人	148千円	合計	45人	217千円
(内訳)	実人数	助成額																																															
峰山町	2人	42千円																																															
大宮町	7人	317千円																																															
網野町	6人	135千円																																															
丹後町	5人	101千円																																															
弥栄町	1人	60千円																																															
久美浜町	25人	1,262千円																																															
合計	46人	1,917千円																																															
(内訳)	実人数	助成額																																															
峰山町	2人	5千円																																															
大宮町	6人	19千円																																															
網野町	6人	22千円																																															
丹後町	5人	19千円																																															
弥栄町	1人	4千円																																															
久美浜町	25人	148千円																																															
合計	45人	217千円																																															
主な財源																																																	
評価・課題等	将来への不安を抱える障害者が安心して治療に専念できるよう、慢性透析療法が必要な方の経済的な負担の軽減を図ることができた。																																																
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課																																																

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	09障害者福祉施設整備助成事業
細事業名	01 障害者福祉施設整備助成事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
5,601千円	5,601千円	0千円	100.0%	5,601千円
目的	社会福祉法人が施設整備時に受けた借入金の元金償還額等及び土地借上げに要する経費の一部を助成し、安定した障害福祉サービスの充実を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>施設経営の安定化、市内における障害福祉サービスの充実を図るため、施設整備における借入金の元金償還額等の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○桃山の里土地借用料助成金（面積：3,710.39㎡） 591千円 知的障害者施設「桃山の里」の土地借用料の助成 ○あみの福祉会施設整備事業借入償還金補助金 3,330千円 施設整備借入金のうち元金償還額の全額補助（平成28年度まで） ○久美の浜福祉会施設整備事業借入償還金補助金 1,680千円 施設整備借入金のうち元金償還額の一部補助（平成31年度まで） 			
主な財源				
評価・課題等	障害福祉サービスを確保するための施設整備借入金の一部等に対して助成を行い、円滑な事業運営の支援と障害者福祉サービスの充実を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	10障害福祉サービス事業																								
細事業名	01 障害福祉サービス事業			決算書 P.136																								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																								
1,307,067千円	1,307,166千円	99千円	99.9%	1,289,733千円																								
目的	障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付やその他の支援を行い、障害者福祉の増進を図る。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害のある方の心身の状況や生活環境に応じて、障害のある方の障害福祉サービスの給付や、サービスを提供した事業所への支援を行うなど、障害者福祉の増進を図るための事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手数料 1,801 千円 障害福祉サービス（介護給付費等、療養介護医療分）にかかる審査支払手数料 ○負担金及び補助金 4,263 千円 サービス利用者に対し各種補助要綱に基づく支援を実施した事業所に対する補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・児童デイサービス利用支援：352千円 ・短期入所サービス利用支援：1,353千円 ・最重度強度行動障害者特別支援：2,227千円 ・障害者福祉サービス等利用支援負担金：331千円 ○扶助費 1,301,003 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費等（負担金関係）：1,300,057千円 ・事業所等への給付（特別対策等）：946千円 <p>◇ 介護給付費等関係〔延べ利用者数〕平成26年3月末支給決定者数</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問系(居宅介護等)</td> <td>1,543人 (191人)</td> <td>地域相談支援</td> <td>1,251人 (1人)</td> </tr> <tr> <td>日中活動系(介護)</td> <td>3,079人 (265人)</td> <td>計画相談</td> <td>1,162人 (370人)</td> </tr> <tr> <td>日中活動系(訓練)</td> <td>2,381人 (220人)</td> <td>児童発達支援</td> <td>451人 (45人)</td> </tr> <tr> <td>短期入所</td> <td>360人 (126人)</td> <td>放課後等デイサービス</td> <td>330人 (38人)</td> </tr> <tr> <td>施設入所支援</td> <td>1,251人 (103人)</td> <td>保育所等訪問支援</td> <td>55人 (27人)</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助・介護</td> <td>777人 (73人)</td> <td>障害児相談支援</td> <td>157人 (52人)</td> </tr> </table> <p>◇ 障害福祉サービス等利用支援費支給事業 補装具（延べ4人）、更生医療（延べ298人）、入所者医療（延べ19人）</p> <p>◇ 特別対策事業（事業円滑化給付費）：新体系定着支援事業2事業所</p>				訪問系(居宅介護等)	1,543人 (191人)	地域相談支援	1,251人 (1人)	日中活動系(介護)	3,079人 (265人)	計画相談	1,162人 (370人)	日中活動系(訓練)	2,381人 (220人)	児童発達支援	451人 (45人)	短期入所	360人 (126人)	放課後等デイサービス	330人 (38人)	施設入所支援	1,251人 (103人)	保育所等訪問支援	55人 (27人)	共同生活援助・介護	777人 (73人)	障害児相談支援	157人 (52人)
訪問系(居宅介護等)	1,543人 (191人)	地域相談支援	1,251人 (1人)																									
日中活動系(介護)	3,079人 (265人)	計画相談	1,162人 (370人)																									
日中活動系(訓練)	2,381人 (220人)	児童発達支援	451人 (45人)																									
短期入所	360人 (126人)	放課後等デイサービス	330人 (38人)																									
施設入所支援	1,251人 (103人)	保育所等訪問支援	55人 (27人)																									
共同生活援助・介護	777人 (73人)	障害児相談支援	157人 (52人)																									
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 国負 介護給付費・訓練等給付費、療養介護医療費、障害児通所給付費負担金（1/2） 659,327千円 府負 介護給付費・訓練等給付費、療養介護医療費、障害児通所給付費負担金（1/4） 324,337千円 府補 障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2） 1,122千円 府補 障害者自立支援対策臨時特例交付金（3/4） 709千円 府補 心身障害者サービス利用支援事業費補助金（1/2） 853千円 																											
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○「障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援する法律(障害者総合支援法)」に基づいたサービス支給決定を適切に実施することができた。 ○事業所等との連携を密にすることで、障害者への適切な援助、生活の安定や自立に向けた支援をすることができた。 																											
事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課																											

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	11自立支援医療事業																																																					
細事業名	01 自立支援医療事業				決算書	P.136																																																			
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市			計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実																																																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																					
8,722千円	9,304千円	582千円	93.7%	10,064千円																																																					
目的	障害の除去又は程度の軽減を目的に、都道府県が指定する医療機関で手術や血液透析等の医療を受けた場合、必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。																																																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費を給付した。体に障害がある、又は障害が残ると思われる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等を行うことでその治療効果が期待できるものについて、育成医療費を給付した。</p> <p>更生医療対象外の在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成し、受診者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○自立支援医療給付費 7,593千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>障害名</th> <th>人数</th> <th>医療給付費</th> <th>医療の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>13</td> <td>636千円</td> <td>人工関節置換術等</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>70</td> <td>1,808千円</td> <td>ペースメーカー植込術、バイパス術等</td> </tr> <tr> <td>じん臓</td> <td>42</td> <td>5,149千円</td> <td>人工透析等</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自立支援医療（育成医療）給付費 618千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>障害名</th> <th>人数</th> <th>医療給付費</th> <th>医療の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視覚障害</td> <td>2</td> <td>77千円</td> <td>斜視手術等</td> </tr> <tr> <td>音声・言語・そしゃく機能障害</td> <td>8</td> <td>337千円</td> <td>歯科矯正等</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>3</td> <td>124千円</td> <td>内反足に対する手術等</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>80千円</td> <td>尿道下裂根治術等</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自立支援医療特別対策事業給付費 479千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>人数</th> <th>医療給付費</th> <th>対象医療</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸器機能障害で身体障害者手帳3級所持者</td> <td>6</td> <td>403千円</td> <td>在宅酸素療法</td> </tr> <tr> <td>ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者</td> <td>2</td> <td>76千円</td> <td>ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ周辺の感染防止等の治療</td> </tr> </tbody> </table> <p>○審査支払事務手数料 32千円</p> <p>国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金へ事務委託</p>									障害名	人数	医療給付費	医療の主な内容	肢体不自由	13	636千円	人工関節置換術等	心臓	70	1,808千円	ペースメーカー植込術、バイパス術等	じん臓	42	5,149千円	人工透析等	障害名	人数	医療給付費	医療の主な内容	視覚障害	2	77千円	斜視手術等	音声・言語・そしゃく機能障害	8	337千円	歯科矯正等	肢体不自由	3	124千円	内反足に対する手術等	その他	2	80千円	尿道下裂根治術等	対象者	人数	医療給付費	対象医療	呼吸器機能障害で身体障害者手帳3級所持者	6	403千円	在宅酸素療法	ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	2	76千円	ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ周辺の感染防止等の治療
	障害名	人数	医療給付費	医療の主な内容																																																					
	肢体不自由	13	636千円	人工関節置換術等																																																					
	心臓	70	1,808千円	ペースメーカー植込術、バイパス術等																																																					
	じん臓	42	5,149千円	人工透析等																																																					
	障害名	人数	医療給付費	医療の主な内容																																																					
	視覚障害	2	77千円	斜視手術等																																																					
	音声・言語・そしゃく機能障害	8	337千円	歯科矯正等																																																					
	肢体不自由	3	124千円	内反足に対する手術等																																																					
	その他	2	80千円	尿道下裂根治術等																																																					
対象者	人数	医療給付費	対象医療																																																						
呼吸器機能障害で身体障害者手帳3級所持者	6	403千円	在宅酸素療法																																																						
ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	2	76千円	ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ周辺の感染防止等の治療																																																						
主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金（1/2）			4,105千円																																																				
	府負	障害者自立支援医療費負担金（1/4）			2,052千円																																																				
	府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金（1/2）			230千円																																																				
評価・課題等	医療費の負担を軽減することにより、障害者本人が安心して治療に専念することができ、障害者の日常生活能力の回復、改善を図ることができた。																																																								
	事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課																																																							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	12補装具事業																										
細事業名	01 補装具事業				決算書	P.136																								
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市			計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実																									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																										
12,628千円	12,632千円	4千円	99.9%	12,457千円																										
目的	身体障害児等の身体機能を補完又は代替する補装具の購入及び修理に係る費用を支給することで、障害児者の安定した日常生活及び社会生活の維持に寄与する。																													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害児者が安定した日常生活及び社会生活を維持できるよう、補装具の購入及び修理に係る費用を支給した。</p> <p>○扶助費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> <th>公費負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害児補装具給付費</td> <td></td> <td>5,049千円</td> </tr> <tr> <td>・交付件数</td> <td>26件</td> <td>4,961千円</td> </tr> <tr> <td>・修理件数</td> <td>5件</td> <td>88千円</td> </tr> <tr> <td>身体障害者補装具給付費</td> <td></td> <td>7,579千円</td> </tr> <tr> <td>・交付件数</td> <td>91件</td> <td>6,850千円</td> </tr> <tr> <td>・修理件数</td> <td>40件</td> <td>729千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※身体障害児の補装具に係る自己負担分については、市の独自施策として全額公費にて給付している。</p>									項目	数量	公費負担額	身体障害児補装具給付費		5,049千円	・交付件数	26件	4,961千円	・修理件数	5件	88千円	身体障害者補装具給付費		7,579千円	・交付件数	91件	6,850千円	・修理件数	40件	729千円
	項目	数量	公費負担額																											
	身体障害児補装具給付費		5,049千円																											
	・交付件数	26件	4,961千円																											
	・修理件数	5件	88千円																											
	身体障害者補装具給付費		7,579千円																											
	・交付件数	91件	6,850千円																											
	・修理件数	40件	729千円																											
	主な財源	国負	障害児者補装具給付費負担金（1/2）			6,229千円																								
		府負	障害児者補装具給付費負担金（1/4）			3,157千円																								
評価・課題等	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の生活上の不便さを緩和したり、身体的条件を改善することができた。																													
	事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課																												

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	13地域生活支援事業
細事業名	01 地域生活支援事業			決算書 P.136
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
161,934千円	162,363千円	429千円	99.7%	156,558千円
目的	障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、さまざまな事業を実施した。相談支援事業は2事業者に委託し、市内在住の障害のある方から障害福祉サービス利用等の相談に応じた。意思疎通支援事業は、手話通訳者を委託事業所に設置するとともに、要約筆記奉仕員等を派遣し、聴覚障害者等の支援を行った。日常生活用具給付等事業は、障害のある方に対し、ストマ用装具などの日常生活上の便宜を図るための用具の給付を行った。移動支援事業は9事業者に委託し、屋外での移動が困難な方に対し、外出のための支援を行った。その他、障害者に創作的活動等の場を提供する地域活動支援センター事業、日中活動の場を確保する障害者・児童日中一時支援事業などを実施した。			
	事業名等	決算額	件数等(延べ)	
	障害者相談支援事業	17,200千円	相談件数: 1,929件	
	意思疎通支援事業	6,436千円	通訳等回数: 496回	
	日常生活用具給付等事業	20,484千円	交付件数: 1,595件	
	移動支援事業	9,965千円	利用時間数: 4,336時間	
	地域活動支援センター事業	55,363千円	利用者数: 1,469人	
	障害者・児童日中一時支援事業	43,398千円	利用回数: 9,955回	
	在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業	2,024千円	利用回数: 162回	
	手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業	500千円	受講者数: 31人	
福祉ｸﾗﾌﾞ-利用券及び福祉ｸﾞﾙｰﾌﾟ利用券交付事業	5,626千円	交付者数: 1,212人		
自動車改造費・免許取得助成事業	700千円	交付者数: 7人		
精神障害者社会復帰教室	53千円	開催回数: 30回		
成年後見制度利用支援事業	90千円	利用者数: 3人		
難聴児補聴器購入費助成事業	73千円	交付件数: 2件		
障害者虐待防止対策費用	22千円	権利擁護支援ｸﾗﾌﾞ-費用		
主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	42,198千円	
	府補	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	21,098千円	
	諸収入	成年後見人等開始審判請求費用	5千円	
評価・課題等	○相談支援をはじめ各種事業を社会福祉法人等に委託し、総合的に支援する体制を充実させることで、円滑に事業を実施することができた。 ○増加する利用ニーズに対応することにより、福祉サービスの推進に資することができた。 ○各種実施事業について、ニーズに応じたサービス提供の一層の充実が図られるよう事業所と連携して進める必要がある。			
	事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	14障害者就労支援事業	
細事業名	01 障害者就労支援事業			決算書 P.138	
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,196千円	3,241千円	45千円	98.6%	3,916千円	
目的	障害者の自立と社会参加の促進を図り、障害者の就労を促進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市役所や一般企業での職場実習を実施し、就労促進とその定着に向けた支援を行った。また、就労に積極的に取り組んだ企業等や法人に対して奨励金等を支給し、就労先の拡大に取り組んだ。 京都府事業の自立支援協議会運営強化事業を実施し、就労における地域課題の検討に取り組んだ。				
	○障害者短期職場実習委託料	よさのうみ福祉会へ事業委託し、4人の方に職場実習を提供した。		160千円	
	○障害者職場実習促進事業補助金	2人の方の就労実習を受け入れた2企業等と、就労実習を支援した障害者支援施設1施設に奨励金を支給した。		105千円	
	○障害者施設製品販売支援事業補助金	市内4法人9事業所で平成25年9月市内大型店舗内に出店した販売所(クリエイティブショップくりくり)の運営経費等を補助した。		2,836千円	
	○その他 (講師謝礼金など)	自立支援協議会運営強化事業で研修や講演会、先進地視察を実施した。 ・虐待防止学習会(平成25年7月11日:参加者20人) ・後見人制度学習会(平成25年10月10日:参加者20人) ・ホームヘルパー現任研修会(平成25年11月8日:参加者45人) ※講演とグループワーク ・先進地視察 京都府立福知山高等技術専門学校[福知山市](平成25年7月29日:参加者10人) 就労継続支援A型事業所 風の杜、楽々庵[豊岡市] (平成25年11月28日:参加者10人)		95千円	
	主な財源				
	評価・課題等	○就労支援事業の活用により、障害のある方の就労意欲の促進と社会参加の促進を図ることができた。 ○自立支援協議会就労支援部会において、事業主への障害者雇用促進制度紹介リーフレットを作成し、市内事業者へ周知することができた。 ○関係機関との連携をさらに深め、当事者への支援だけではなく企業への働きかけを積極的に行い、障害者雇用の拡大を実現できる仕組みづくりを進める必要がある。			
		事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	50障害者福祉一般経費
細事業名	01 障害者福祉一般経費			決算書 P.138
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑤ 共に生きる障害者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
25,392千円	25,592千円	200千円	99.2%	6,316千円
目的	障害者福祉に関する各事業を行う上で必要となる事務を行うとともに、障害者総合支援法で規定されている審査会の設置・運営により、事業を円滑に行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	障害者福祉に関する会議参加、施設・病院訪問、研修参加等の旅費、審査会に係る経費、その他の一般事務経費の支出を行った。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬：障害程度区分認定審査会委員報酬（5人、12回開催） 902千円 ○報償費：身体・知的障害者相談員謝金（22人） 663千円 ○臨時職員賃金（障害程度区分認定調査員7人） 62千円 ○旅費 449千円 <ul style="list-style-type: none"> 費用弁償（認定審査会委員 延べ42人） 39千円 普通旅費（ケース会議・担当者会議・認定調査） 410千円 ○需用費（事務消耗品ほか） 294千円 ○役務費 731千円 <ul style="list-style-type: none"> 障害程度区分医師意見書作成料（151件）ほか 674千円 通信運搬費 ボランティア保険料ほか 57千円 ○委託料 9,575千円 <ul style="list-style-type: none"> 延べ食数 5,071食（11事業所）（1か月分） 904千円 障害システム保守・改修委託料等 8,671千円 ○使用料及び賃借料（自動車借上料、有料道路通行料等） 142千円 ○備品購入費（国保連合会用、審査会用パソコン 各1台） 138千円 ○過年度国庫支出金返還金 12,236千円 <ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援給付費国庫負担金等 11,756千円 障害者医療費国庫負担金 169千円 障害児施設措置費国庫負担金 201千円 特別障害者手当等給付費国庫負担金 66千円 障害程度区分認定事業費補助金 44千円 ○負担金（丹後視力障害者福祉センター後援会負担金） 200千円 			
主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）	861千円	
	国補	障害者総合支援事業費補助金（1/2）	1,200千円	
	府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）	431千円	
評価・課題等	適正な執行を行うことにより、障害者福祉に関する事務事業を円滑に行うことができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	01敬老祝い事業																																																																									
細事業名	01 敬老祝い事業			決算書 P.140																																																																									
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																																																									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																																									
25,855千円	25,869千円	14千円	99.9%	27,516千円																																																																									
目的	各区等が行う敬老会事業に対して補助金を交付するとともに、喜寿・100歳以上の各対象者に対し祝い品を贈呈し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表する。																																																																												
主要な事務・事業及び成果の概要	高齢者の長寿をお祝いし、今後ますます元気で健康に暮らしていただくことを祈念するために地区主催での敬老会実施を支援した。また、喜寿・100歳以上の方へ記念品を贈呈した。																																																																												
	<p>■敬老会の主な内容</p> <p>式典・・・記念品の贈呈、敬老の言葉、祝電披露 余興・・・演芸、合唱、踊りほか</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">敬老会</th> <th colspan="2">記念品贈呈者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">町別</th> <th rowspan="2">主催</th> <th rowspan="2">対象者数 (75歳以上)</th> <th rowspan="2">参加者数</th> <th colspan="2">参加率(%)</th> <th rowspan="2">100歳以上</th> <th rowspan="2">喜寿</th> </tr> <tr> <th>参加率</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>地区等</td> <td>2,179</td> <td>984</td> <td>45.2</td> <td>46.5</td> <td>8</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>地区等</td> <td>1,566</td> <td>633</td> <td>40.4</td> <td>40.7</td> <td>3</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>地区等</td> <td>2,667</td> <td>951</td> <td>35.7</td> <td>36.5</td> <td>24</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>地区等</td> <td>1,303</td> <td>588</td> <td>45.1</td> <td>46.6</td> <td>8</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>地区等</td> <td>1,132</td> <td>591</td> <td>52.2</td> <td>52.1</td> <td>11</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>地区等</td> <td>2,337</td> <td>840</td> <td>35.9</td> <td>36.1</td> <td>27</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>11,184</td> <td>4,587</td> <td>41.0</td> <td>41.7</td> <td>81</td> <td>758</td> </tr> </tbody> </table> <p>○敬老会補助金（地区等開催） 24,796千円 敬老会の補助金対象年齢は、75歳以上（補助金2,250円/人）</p> <p>○喜寿、100歳以上の方への祝い品 1,059千円 喜寿：折りたたみ伸縮杖、100歳以上：カタログギフト</p>				敬老会						記念品贈呈者数		町別	主催	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率(%)		100歳以上	喜寿	参加率	前年度	峰山	地区等	2,179	984	45.2	46.5	8	156	大宮	地区等	1,566	633	40.4	40.7	3	93	網野	地区等	2,667	951	35.7	36.5	24	194	丹後	地区等	1,303	588	45.1	46.6	8	94	弥栄	地区等	1,132	591	52.2	52.1	11	73	久美浜	地区等	2,337	840	35.9	36.1	27	148	合計		11,184	4,587	41.0	41.7	81
敬老会						記念品贈呈者数																																																																							
町別	主催	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率(%)		100歳以上	喜寿																																																																						
				参加率	前年度																																																																								
峰山	地区等	2,179	984	45.2	46.5	8	156																																																																						
大宮	地区等	1,566	633	40.4	40.7	3	93																																																																						
網野	地区等	2,667	951	35.7	36.5	24	194																																																																						
丹後	地区等	1,303	588	45.1	46.6	8	94																																																																						
弥栄	地区等	1,132	591	52.2	52.1	11	73																																																																						
久美浜	地区等	2,337	840	35.9	36.1	27	148																																																																						
合計		11,184	4,587	41.0	41.7	81	758																																																																						
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	13,000千円																																																																										
評価・課題等	平均寿命の延伸や今後の高齢化社会の進展を鑑み、対象年齢等の事業内容の見直しが必要となっている。																																																																												
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																																																																												

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	02老人保護措置事業																																		
細事業名	01 老人保護措置事業			決算書	P.140																																	
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																		
149,020千円	149,747千円	727千円	99.5%	155,867千円																																		
目的	概ね65歳以上の方で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅における生活の継続が困難な方を養護老人ホームに入所させ、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。																																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホームに入所措置し、対象者の心身の健康の保持及び生活の安定を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○養護老人ホーム入所措置事務費 32千円 <ul style="list-style-type: none"> 入退所立会等旅費 2千円 入所判定委員会委員報償金 24千円 (4千円×2人×3回) 入所者相続財産管理人選任経費 6千円 ○養護老人ホーム入所措置費 148,988千円 <p><養護老人ホーム入所者数> (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">24年度末 入所者数</th> <th colspan="2">25年度中異動</th> <th rowspan="2">25年度末 入所者数</th> </tr> <tr> <th>入所</th> <th>退所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満寿園(京丹後市)</td> <td>56</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>成相山青嵐荘(宮津市)</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>三愛荘(福知山市)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>長生園(南丹市)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	24年度末 入所者数	25年度中異動		25年度末 入所者数	入所	退所	満寿園(京丹後市)	56	10	13	53	成相山青嵐荘(宮津市)	11	0	2	9	三愛荘(福知山市)	3	0	0	3	長生園(南丹市)	1	0	0	1	合計	71	10	15	66
	施設名	24年度末 入所者数	25年度中異動		25年度末 入所者数																																	
入所			退所																																			
満寿園(京丹後市)	56	10	13	53																																		
成相山青嵐荘(宮津市)	11	0	2	9																																		
三愛荘(福知山市)	3	0	0	3																																		
長生園(南丹市)	1	0	0	1																																		
合計	71	10	15	66																																		
主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金		30,526千円																																			
評価・課題等	<p>○地域包括支援センター等との連携により、申請者の状況把握に努め、入所措置をすることにより高齢者虐待の防止と生活改善に寄与した。</p> <p>○今後は、高齢化に伴い入所希望者も増えることが予想されるが、適切な入所措置に努めるとともに、入所措置とならない方に対する支援として、さらに他施策と連携する必要がある。</p>																																					
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	03老人クラブ活性化支援事業		
細事業名	01 老人クラブ活性化支援事業			決算書	P.140	
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
8,940千円	9,071千円	131千円	98.5%	8,651千円		
目的	老人クラブの活動に対して助成を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う友愛訪問活動事業、健康づくり事業、広報・加入促進事業等に対し、補助金を交付した。</p> <p>【補助対象内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位老人クラブ(106クラブ、2,785人)の活動に対する補助 4,915千円 市老人クラブ連合会の活動に対する補助 394千円 友愛訪問活動事業に対する補助 310千円 市内の介護施設8か所を訪問、寄せ植えしたプランター等をプレゼントした。また、11月には宇治市の老人クラブを訪問し交流を深めた。 各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助 620千円 市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助(年2回発行) 712千円 市老人クラブ連合会事務局員設置(2人)に対する補助 1,500千円 府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助 249千円 会員拡大・加入促進事業に対する補助 150千円 世代間交流事業に対する補助 90千円 					
	主な財源	府補 老人クラブ助成事業費補助金(2/3)		4,793千円		
評価・課題等	<p>○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕事業等を支援することで事業を円滑に実施することができ、健康保持及び社会貢献に大きく寄与した。</p> <p>○会員数は年々減少傾向にあることから、老人クラブの組織の充実強化について支援、協議等を行い、単位クラブの減少に一定歯止めがかかった。</p> <p>○今後も会員拡大、加入促進のための活性化施策を進める必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	04福祉有償運送運営助成事業
細事業名	01 福祉有償運送運営助成事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
14,643千円	14,644千円	1千円	99.9%	16,541千円

目的 福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要
公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対し、移送サービスを提供する福祉有償運送事業を支援することにより、在宅の高齢者や障害者の方が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図った。また、低所得者が利用した場合に事業者が減免した利用料に対し、補助を行った。

【事業実績】

実利用者数	283人	(H24:331人)
延べ利用回数	11,465回	(H24:12,302回)
福祉有償運送事業費補助金	13,786千円	(H24:12,515千円)
総事業費(23,681千円)ー利用料収入(9,895千円)		

【実績内訳】平成26年3月末現在 (単位:人)

利用登録者数等	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	登録者数	95	118	134	72	55	74	548
実利用者	50	60	76	30	18	49	283	

(単位:回)

対象者延べ利用回数	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	高齢者	605	760	1,362	277	271	441	3,716
	透析者	918	844	744	388	598	3,577	7,069
	障害者	83	176	107	115	70	129	680
合計	1,606	1,780	2,213	780	939	4,147	11,465	

【利用料減免補助】(※京都府地域包括ケア総合交付金事業) 857千円

内訳

社会福祉協議会 減免分	785千円
NPO法人のついで 減免分	72千円

主な財源
府補 京都府地域包括ケア総合交付金(10/10) 857千円
市債 過疎地域自立促進特別事業債(過疎対策債) 2,700千円

評価・課題等
○高齢者や障害者の日常生活の移動手段として有効に利用され、地域福祉の向上が図れた。
○市からは事業費の収支不足分を補助金として支出しているため、事業者に一層効率的な事業運営を求めていく必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	06生活管理指導事業
細事業名	01 生活管理指導事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
85千円	263千円	178千円	32.3%	263千円

目的 生活習慣の欠如など社会生活の適応が困難な高齢者に対して、養護老人ホーム等において短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援を行い、自立した生活の助長を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要
要介護状態ではないが、社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等において短期間の宿泊サービスを提供することにより、生活習慣の指導や体調調整を行い、在宅生活を営めるよう支援した。

【実績】

利用者数	2人
利用日数	41日
生活管理指導事業委託料	85千円(2,080円×41日)

(事業委託先)

社会福祉法人あしぎぬ福祉会
社会福祉法人丹後福祉会

主な財源

評価・課題等
さらなる高齢化社会の進展が予想される中、在宅生活を営めるよう支援を行うことで、社会生活の適応が困難な高齢者の自立した生活に寄与した。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	07生きがい活動支援通所事業																		
細事業名	01 生きがい活動支援通所事業			決算書 P.142																		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																		
1,729千円	1,729千円	0千円	100.0%	2,624千円																		
目的	家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対し、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等のサービスを提供し、心身の機能の維持向上を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対して、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等のサービスを提供することにより、高齢者が生きがいをもって自立した生活を送るとともに、心身機能の維持向上を図ることを支援した。</p> <p>○生きがい活動支援通所事業委託料 1,729千円</p> <p>【実績】 (単位：回、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託先</th> <th>延べ利用回数</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(福)みねやま福祉会</td> <td>36</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>(福)丹後福祉会</td> <td>186</td> <td>1,004</td> </tr> <tr> <td>(福)はしうど福祉会</td> <td>20</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>(福)あしぎぬ福祉会</td> <td>156</td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>398</td> <td>1,729</td> </tr> </tbody> </table> <p>みねやま福祉会 (はごろも苑)、丹後福祉会 (浜詰ふれあいセンター) はしうど福祉会 (いちがお園) あしぎぬ福祉会 (いきがい交流センター・弥栄保健福祉センター)</p>				委託先	延べ利用回数	委託金額	(福)みねやま福祉会	36	130	(福)丹後福祉会	186	1,004	(福)はしうど福祉会	20	100	(福)あしぎぬ福祉会	156	495	計	398	1,729
委託先	延べ利用回数	委託金額																				
(福)みねやま福祉会	36	130																				
(福)丹後福祉会	186	1,004																				
(福)はしうど福祉会	20	100																				
(福)あしぎぬ福祉会	156	495																				
計	398	1,729																				
主な財源																						
評価・課題等	○各種サービスの提供により、閉じこもりがちな在宅の高齢者の介護予防に効果があった。 ○利用者ごとに事業評価を行うなど事業内容の見直しが必要となっていたことから、財政的にも有利な介護予防事業に平成26年度から移行する。																					
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	08老人日常生活用具給付等事業
細事業名	01 老人日常生活用具給付等事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8千円	89千円	81千円	8.9%	89千円
目的	ひとり暮らしの要援護老人等に対し、電磁調理器等を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図るとともに、貸与した老人福祉電話の基本料を助成し福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>65歳以上の要援護老人及びひとり暮らし老人に対し、必要に応じて日常生活用具を給付又は貸与を行った。(対象者の収入に応じて負担額を設定) 平成25年度は電磁調理器を1件給付した。老人用電話回線の新規貸与は無く、休止も0件であった。</p> <p>○電磁調理器の給付 給付件数 1件 給付金額 8千円</p> <p>○老人福祉電話の貸与 継続設置 9件 新規設置 0件 休止回線 0件</p>			
主な財源				
評価・課題等	防火等の配慮が必要なひとり暮らし老人等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付又は貸与することで住み慣れた地域での生活の維持に貢献している。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	09介護サービス利用負担軽減事業
細事業名	01 介護サービス利用負担軽減事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,723千円	19,724千円	1千円	99.9%	19,000千円

目的	介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対し、助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>低所得者で生計の維持が困難である者が、介護保険サービスを利用した時の利用者負担額について、社会福祉法人等が軽減を行った場合に、軽減を行った社会福祉法人等に対して、市がその一部を助成した。</p> <p>○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 19,714千円 助成金交付法人等数 16 法人等 利用者負担軽減対象者数 555 人 (延べ 747 人)</p> <p>○過年度府支出金返還金 9千円 ※平成24年度介護保険事業費補助金</p>		
主な財源	府補	介護保険事業費補助金 (3/4)	14,785千円
評価・課題等	低所得で生計が困難な要介護被保険者等が介護サービスを利用する際の費用負担を軽減することでサービスの利用促進を図ることができた。		
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業
細事業名	01 老人福祉施設建設資金借入金償還補助金			決算書 P.142
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
46,565千円	46,566千円	1千円	99.9%	46,566千円

目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を助成し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉の拠点となる施設整備を行った法人に対し、施設整備に係る債務の償還金額の一部について助成を行った。</p> <p>○建設資金借入金償還補助</p> <table border="0"> <tr> <td>特別養護老人ホームはごろも苑</td> <td>10,000千円</td> <td>(H25年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑</td> <td>4,465千円</td> <td>(H40年度まで)</td> </tr> <tr> <td>おおみや苑複合施設</td> <td>11,640千円</td> <td>(H30年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームおおみや苑</td> <td>5,000千円</td> <td>(H30年度まで)</td> </tr> <tr> <td>丹後園デイサービスセンター</td> <td>1,500千円</td> <td>(H27年度まで)</td> </tr> <tr> <td>第二丹後園</td> <td>80千円</td> <td>(H25年度まで)</td> </tr> <tr> <td>第二丹後園</td> <td>4,260千円</td> <td>(H36年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム満寿園</td> <td>4,952千円</td> <td>(H42年度まで)</td> </tr> <tr> <td>久美浜デイサービスセンター</td> <td>526千円</td> <td>(H28年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム海山園</td> <td>1,500千円</td> <td>(H33年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームふるさと</td> <td>2,363千円</td> <td>(H49年度まで)</td> </tr> </table> <p>○改築資金借入金償還補助</p> <table border="0"> <tr> <td>特別養護老人ホーム満寿園</td> <td>279千円</td> <td>(H40年度まで)</td> </tr> </table>			特別養護老人ホームはごろも苑	10,000千円	(H25年度まで)	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑	4,465千円	(H40年度まで)	おおみや苑複合施設	11,640千円	(H30年度まで)	特別養護老人ホームおおみや苑	5,000千円	(H30年度まで)	丹後園デイサービスセンター	1,500千円	(H27年度まで)	第二丹後園	80千円	(H25年度まで)	第二丹後園	4,260千円	(H36年度まで)	特別養護老人ホーム満寿園	4,952千円	(H42年度まで)	久美浜デイサービスセンター	526千円	(H28年度まで)	特別養護老人ホーム海山園	1,500千円	(H33年度まで)	特別養護老人ホームふるさと	2,363千円	(H49年度まで)	特別養護老人ホーム満寿園	279千円	(H40年度まで)
特別養護老人ホームはごろも苑	10,000千円	(H25年度まで)																																					
特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑	4,465千円	(H40年度まで)																																					
おおみや苑複合施設	11,640千円	(H30年度まで)																																					
特別養護老人ホームおおみや苑	5,000千円	(H30年度まで)																																					
丹後園デイサービスセンター	1,500千円	(H27年度まで)																																					
第二丹後園	80千円	(H25年度まで)																																					
第二丹後園	4,260千円	(H36年度まで)																																					
特別養護老人ホーム満寿園	4,952千円	(H42年度まで)																																					
久美浜デイサービスセンター	526千円	(H28年度まで)																																					
特別養護老人ホーム海山園	1,500千円	(H33年度まで)																																					
特別養護老人ホームふるさと	2,363千円	(H49年度まで)																																					
特別養護老人ホーム満寿園	279千円	(H40年度まで)																																					
主な財源																																							
評価・課題等	<p>○不足する施設の整備を行う社会福祉法人に対し助成を行うことによって、介護・福祉サービス基盤を確保することができた。</p> <p>○介護サービス事業所の施設が整ってきた状況で、概ね制度目的を達成したため、既存施設の償還補助は継続しつつ、新規施設への償還補助については制度の廃止を含め、検討する必要がある。</p>																																						
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																																						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業		
細事業名	03 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金			決算書 P.142		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
43,805千円	103,805千円	60,000千円	42.1 %	2,214千円		
目的	地域の特性に応じた介護・福祉サービス基盤の整備を推進することにより、高齢者等が身近な生活圏域の中で、さまざまな介護・福祉サービスを利用できる環境を整える。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした施設整備を行う事業者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用して助成を行った。</p> <p>○対象事業</p> <p>(1) 介護基盤緊急整備特別対策事業 (施設整備) 30,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付額 30,000千円 ふれあいホーム桃山 (社会福祉法人 丹後福祉会) ※基準額:1施設当たり30,000千円 <p>(2) 既存施設スプリンクラー整備特別対策事業 10,205 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付額 1,476千円 おおみや苑あけだの家 (社会福祉法人 丹後大宮福祉会) ・補助金交付額 2,214千円 あげぼの荘 (社会福祉法人 不動園) ・補助金交付額 1,370千円 田村ゆうゆうの里 (社会福祉法人 太陽福祉会) ・補助金交付額 2,507千円 川上ふれあいの家 (社会福祉法人 太陽福祉会) ・補助金交付額 2,638千円 グループホームいきがい (社会福祉法人 太陽福祉会) <p>(3) 施設開設準備経費助成事業 3,600 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付額 3,600千円 ふれあいホーム桃山 (社会福祉法人 丹後福祉会) ※基準額:宿泊利用定員1人当たり600千円 					
	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>43,805千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td>100.0 %</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業 60,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護基盤緊急整備特別対策事業 (施設整備) 2施設 あしぎぬホーム なごみ 30,000千円 (H26.10月完成予定) (社会福祉法人 あしぎぬ福祉会) いさなご荘 (社会福祉法人 不動園) 30,000千円 (H26.11月完成予定) 	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	43,805千円		実質的な執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	43,805千円				
	実質的な執行率	100.0 %				
主な財源	府補	介護基盤緊急整備特別対策事業費交付金 (10/10)	43,805千円			
評価・課題等	<p>○本事業の活用により、事業者が円滑に開設準備を進めることができた。</p> <p>○スプリンクラー設備整備費用の一部を補助することにより、防火安全対策が強化された。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	11網野高齢者すこやかセンター施設管理事業
細事業名	01 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,306千円	8,560千円	254千円	97.0 %	8,560千円
目的	サークル活動などの会場及び入浴施設を提供し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。</p> <p>○事業の内容</p> <p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 5,085千円 (消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) ・役務費 161千円 (通信運搬費、火災保険料) ・委託料 2,944千円 (施設管理委託、消防設備保守点検等) ・使用料及び賃借料 116千円 (清掃用具借上料、コピー機借上料) <p>年間施設利用者数</p> <p>入浴利用者数 16,991 人</p> <p>研修室等利用者数 (件数) 620 人 (78件)</p>			
	主な財源	使用料	網野高齢者すこやかセンター使用料	3,440千円
評価・課題等	<p>○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者福祉の推進に貢献している。</p> <p>○限られた高齢者による利用が主となっており、また、入浴施設は民間にも同様の施設があることから、市の公共施設見直し計画に基づき、民間などへの移譲を前提に協議・検討を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	12介護保険事業特別会計繰出金
細事業名	01 介護保険事業特別会計繰出金			決算書 P.142
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
816,740千円	816,741千円	1千円	99.9%	734,718千円
目的	介護保険法で定められた費用及び事務費相当分を負担することで、介護保険事業特別会計の円滑な運営を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護保険事業を円滑に推進するため、一般会計より介護保険給付費の公費相当分(12.5%)及び事務費相当分(100%)並びに地域支援事業費相当分(基準内20%、基準超過事務費100%)を繰出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護給付費 684,095千円 ○地域支援事業費分(介護予防事業費) 4,572千円 ○包括的支援事業・任意事業費分(地域包括支援センター事業ほか) 73,625千円 ○事務費分 54,448千円 <ul style="list-style-type: none"> 一般事務費 5,206千円 (一般管理費、賦課徴収費、趣旨普及費) 認定事務費 49,242千円 (介護認定審査会費、認定調査等費) 			
主な財源				
評価・課題等				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	14福祉施設等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.144
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
10,892千円	10,893千円	1千円	99.9%	11,251千円
目的	指定管理者の創意工夫に基づいて高齢者拠点施設を管理運営することにより利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理を円滑に行うための経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理委託料 10,326千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野社会参加交流ハウス 1,299千円 (延べ利用者数：7,990人) ・丹後老人福祉センター松風苑 7,657千円 (延べ利用者数：5,034人) ・弥栄生きがい交流センター 1,370千円 (延べ利用者数：2,061人) ○修繕料(網野社会参加交流ハウス電気炉修繕) 361千円 ○建物火災保険料 125千円 ○土地借上料(浜詰ふれあいセンター用地賃借料) 1,565㎡ 80千円 ※台帳面積割合による按分で土地借上料を算定する。 浜詰区：60千円 塩江区：20千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進が図れた。</p> <p>○地域の高齢者のために有効な施設であるが、松風苑については、市の公共施設見直し計画に基づき、民間などへの移譲を前提に協議・検討を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	15高齢者安心生活支援事業
細事業名	01 高齢者安心生活支援事業			決算書 P.144
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,439千円	1,529千円	90千円	94.1%	1,529千円

目的 市域中心部から離れ、交通の利便も悪く、医療機関からも遠いなどの地域の高齢者に対して、保健師等による訪問指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要 対象地区内の65歳以上の高齢者を対象に保健師等が訪問し、健康状態の把握、健康管理指導を行い、必要に応じて包括支援センターやその他関係機関につなぐなど連携を図った。

○訪問実績

	継続分		新規分			合計	
	実件数	延件数	地区数	実件数	延件数	実件数	延件数
峰山町	8	8	0	0	0	8	8
大宮町	19	20	0	0	0	19	20
網野町	19	22	0	0	0	19	22
丹後町	58	61	0	0	0	58	61
弥栄町	30	188	0	0	0	30	188
久美浜町	46	47	12	585	623	631	670
合計	180	346	12	585	623	765	969

※無医地区、辺地、過疎地域などから、年度ごとに計画的に訪問地区を設定し、全数訪問を行った結果、引き続き支援が必要な方については継続訪問を行っている。

※介護保険の要介護認定者、福祉サービス利用者については、適宜実態把握を行っているため対象外としている。

○事業費

臨時保健師賃金 (1人)	1,044千円
臨時看護師賃金 (1人)	393千円
需用費 (消耗品)	2千円

主な財源	府補 未来づくり交付金 (高齢者安心生活支援事業)	500千円
------	---------------------------	-------

評価・課題等 ○保健師等が対象地区を訪問し、対象者の健康状態の把握や健康管理指導を行うことにより、高齢者が健康で自立した生活を送るための支援ができた。
○平成25年度末で5年間の訪問計画を終了したが、結果として高齢者の13%に疾病の悪化予防や介護予防が継続して必要であるなどの課題があった。今後は、対象者を絞り悪化予防の継続訪問を行い、保健福祉医療に関する相談等に対応し、健康の保持増進、異常の早期発見治療、介護状態の予防を図る必要がある。

事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課
-------	---------------

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	16介護予防安心住まい推進事業
細事業名	01 介護予防安心住まい推進事業			決算書 P.144
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
318千円	318千円	0千円	100.0%	1,600千円

目的 要介護状態となる恐れが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を助成することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要 65歳以上の要介護状態となる恐れが高い虚弱な状態にある高齢者等で、市民税非課税世帯の方の住宅改修費用の3分の2を助成した。(上限160千円)

○補助対象工事

- ① 手すりの取り付け
- ② 段差の解消
- ③ 滑りの防止又は移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更
- ④ 引き戸等への扉の取替え
- ⑤ 洋式便所等への便器の取替え
- ⑥ その他①から⑤の住宅改修に附帯して必要となる住宅改修

○事業実績

補助対象工事費	521千円
補助金額	318千円
事業実施件数	2件

主な財源	府補 介護予防安心住まい推進事業補助金 (10/10)	318千円
------	-----------------------------	-------

評価・課題等 ○要介護状態となる恐れが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を助成することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止が図られ、高齢者が自宅で生活を営むことを支援することができた。
○府からの全額補助であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要があるとともに、府から補助金が廃止となる場合には、事業廃止を含め、補助金の見直しについて検討する必要がある。

事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課
-------	---------------

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	50高齢者福祉一般経費
細事業名	01 高齢者福祉一般経費			決算書 P.144
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
530千円	590千円	60千円	89.8%	590千円

目的	高齢者福祉施設の維持管理及び事務事業を円滑に実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費（事務担当者会議等 京都市） 5千円 ○消耗品費（事務用品等） 39千円 ○印刷製本費（写真印刷） 10千円 ○光熱水費（網野コミュニティ広場水道料） 11千円 ○有料道路通行料（京都縦貫自動車道） 3千円 ○駐車場使用料 1千円 ○賃借料（グループホーム「かえて」用地賃借料5人 2,047㎡） 461千円 			
主な財源				
評価・課題等	適正な執行を行うことにより、高齢者福祉に関する事務事業について、円滑な実施を行うことができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	01子ども医療事業
細事業名	01 子ども医療事業			決算書 P.144
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	② 医療保険制度の一層の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
178,151千円	178,162千円	11千円	99.9%	169,890千円

目的	乳幼児、児童生徒の医療費の自己負担金の一部を助成し、子育てに係る保護者の経済的負担を軽減することにより、健康の保持と増進を図る。																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>乳幼児・小学生・中学生を対象に、自己負担を1か月1医療機関ごとに200円とし、その超える額を助成した。</p> <p>《受給者数》（平成26年3月31日現在）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">3歳未満：</td> <td style="width: 20%;">1,107人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>3歳から小学生：</td> <td>4,281人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学生：</td> <td>1,661人</td> <td>合計 7,049人</td> </tr> </table> <p>○子ども医療給付費 173,158千円</p> <p>【府制度】出生から3歳未満の外来及び出生から小学校卒業までの入院 京都子育て支援医療費受給者証の交付により現物給付、府外受診は現金償還</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現物給付</td> <td style="width: 20%;">17,042件</td> <td style="width: 20%;">48,663千円</td> </tr> <tr> <td>現金償還</td> <td>495件</td> <td>2,854千円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>17,537件</td> <td>51,517千円</td> </tr> </table> <p>【市制度】3歳から小学校卒業までの外来、中学生の外来と入院 京丹后市子ども医療費受給者証の交付により現物給付、府外受診は現金償還</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現物給付</td> <td style="width: 20%;">45,581件</td> <td style="width: 20%;">93,196千円</td> </tr> <tr> <td>現金償還</td> <td>12,222件</td> <td>28,445千円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>57,803件</td> <td>121,641千円</td> </tr> </table> <p>○審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 4,811千円</p> <p>○その他（通信運搬費、事務消耗品等） 182千円</p>				3歳未満：	1,107人		3歳から小学生：	4,281人		中学生：	1,661人	合計 7,049人	現物給付	17,042件	48,663千円	現金償還	495件	2,854千円	小計	17,537件	51,517千円	現物給付	45,581件	93,196千円	現金償還	12,222件	28,445千円	小計	57,803件	121,641千円
3歳未満：	1,107人																														
3歳から小学生：	4,281人																														
中学生：	1,661人	合計 7,049人																													
現物給付	17,042件	48,663千円																													
現金償還	495件	2,854千円																													
小計	17,537件	51,517千円																													
現物給付	45,581件	93,196千円																													
現金償還	12,222件	28,445千円																													
小計	57,803件	121,641千円																													
主な財源	<p>府負 京都子育て支援医療費補助金（1/2） 42,502千円</p> <p>諸収入 日本赤十字振興財団等災害共済給付金 824千円</p>																														
評価・課題等	○子育て家庭の医療費の一部を助成することにより、疾病の早期発見、適切な治療を受けることが可能となり、疾病の長期化、慢性化を予防することができた。対象乳幼児の健康保持と増進を図るとともに子育て家庭の経済的負担の軽減が図ることができた。 ○平成25年4月からの市制度の現物給付化により、さらに受給者の申請に係る手続きの負担軽減が図れた。																														
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課																														

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	02重度心身障害者老人健康管理事業
細事業名	01 重度心身障害者老人健康管理事業			決算書 P.144
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目 ② 医療保険制度の一層の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
104,887千円	104,968千円	81千円	99.9%	112,398千円

目的	重度心身障害者老人の健康を保持し、もって障害者福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	対象者本人及び世帯員の所得状況により、受給資格の判定を行い、医療費受給者証（健康管理シール）を交付することにより、医療機関での一部負担金を助成し、後期高齢者医療制度の加入者で所得の低い障害者の医療費に係る経済的負担を軽減した。 ○受給者数（平成26年3月31日現在） 府制度：身体障害者手帳1、2級及び療育手帳A所持者 786人 市制度：身体障害者手帳3級所持者 356人 ・審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 565千円 ・重度心身障害者老人健康管理事業補助金 104,158千円 [医療給付費の状況] (単位：件、千円)								
	年度	府制度（身障1、2級/療育A）				市制度（身障3級）			
		現物給付		現金給付		現物給付		現金給付	
		件数	医療費	件数	医療費	件数	医療費	件数	医療費
	H23	13,346	69,671	919	3,670	5,998	27,242	317	1,279
	H24	14,094	74,190	938	4,672	6,176	27,254	282	1,066
	H25	14,052	72,863	863	3,303	6,126	26,985	302	1,007
	対前年	99.7%	98.2%	92.0%	70.7%	99.2%	99.0%	107.1%	94.5%
		府制度計： 14,915件 76,166千円				市制度計： 6,428件 27,992千円			
		・その他経費（事務消耗品、印刷代、郵送料等）							164千円
主な財源	府補 諸収入	重度心身障害者老人健康管理事業費補助金（1/2） 福祉医療返還金						37,373千円 2,279千円	
評価・課題等	○後期高齢者医療制度の加入者で所得の低い障害者の医療費に係る経済的負担を軽減することにより、必要な医療を受けやすくする環境をつくり、疾病の早期発見・早期治療につなげ、重症化・長期化を 방지、健康管理意識を向上させることができた。 ○府内市町村の単費上乗せ状況と受給者負担の現状を調査する。その結果を踏まえて、市制度分の受給者一部負担の見直しについて検討を行う。								
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課								

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	03重度心身障害者医療事業
細事業名	01 重度心身障害者医療事業			決算書 P.146
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目 ② 医療保険制度の一層の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
124,113千円	124,115千円	2千円	99.9%	125,502千円

目的	重度心身障害児（者）の健康の保持と福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	対象者本人及び世帯員の所得状況により、受給資格の判定を行い、福祉医療費受給者証を交付することにより、医療機関における保険診療分の一部負担金を助成し、所得の低い障害者の医療にかかる経済的負担を軽減した。 なお、後期高齢者医療制度に該当する障害者は、重度心身障害者老人健康管理事業へ移行することで、保険料の負担軽減も行っている。 ○受給者数（平成26年3月31日現在） 府制度：身体障害者手帳1、2級及び療育手帳A所持者 694人 市制度：身体障害者手帳3級所持者 167人 計 861人 ・重度障害者医療給付費 123,014千円 (単位：件、千円)								
		府制度（身障1、2級/療育A）				市制度（身障3級）			
		現物給付		現金給付		現物給付		現金給付	
		件数	医療費	件数	医療費	件数	医療費	件数	医療費
		10,508	94,760	934	5,676	2,436	20,313	304	2,265
		府制度計 11,442件 100,436千円				市制度計 2,740件 22,578千円			
		・審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会）							987千円
		・その他経費（旅費、通信運搬費、事務消耗品等）							112千円
	主な財源	府補	障害者医療助成事業費補助金（1/2）						50,835千円
	評価・課題等	○所得の低い障害者の医療にかかる経済的負担を軽減することにより、必要な医療を受けやすくする環境をつくり、疾病の早期発見・早期治療につなげ、重症化・長期化を防止、健康管理意識を向上させることができた。 ○府内市町村の単費上乗せ状況と受給者負担の現状を調査する。その結果を踏まえて、市制度分の受給者一部負担の見直しについて検討を行う。							
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課								

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	04母子・父子医療事業	
細事業名	01 母子・父子医療事業			決算書	P.146
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目 ② 医療保険制度の一層の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
41,211千円	41,226千円	15千円	99.9%	45,691千円	

目的	母子家庭及び父子家庭の保護者と18歳未満の子どもの健康の保持と福祉の向上を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	申請に基づき、所得状況により受給資格の判定を行い、福祉医療費受給者証を交付することにより、医療機関で一部負担金を助成し、母子家庭及び父子家庭の保護者と18歳未満の子どもの医療費にかかる経済的負担を軽減した。					
	○受給者数（平成26年3月31日現在）（単位：人）					
	区分	保護者	児童単独	小学生以下	中学生以上	計
	母子家庭	499	2 (0)	358	370	1,229
	父子家庭	86	0 (0)	44	84	214
	※「児童単独」欄の（ ）内数値は、小学生以下の子どもの数					
	・審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 835 千円					
	・母子医療給付費 40,270 千円					
	〔医療給付費の状況〕（単位：件、千円、%）					
	年度	府制度（母子家庭医療）		市制度（8月診療分からは府制度 父子家庭医療）		
	現物給付		現金給付			
	件数	医療費	件数	医療費		
23	10,098	32,871	544	1,625	2,036 8,110 105 231	
24	9,567	32,076	643	1,686	1,626 7,100 146 314	
25	9,362	31,740	555	1,465	1,449 6,527 162 538	
対前年	97.9	99	86.3	86.9	89.1 91.9 111 171.3	
府制度計：9,917件 33,205千円 市制度計：802件 3,492千円						
府制度計：809件 3,573千円						
・その他経費（旅費、通信運搬費、事務消耗品等） 106 千円						
主な財源	府補 母子家庭医療助成事業費補助金（1/2） 17,955千円			諸収入 日本赤十字振興会等災害共済給付金 174千円		
評価・課題等	母子家庭及び父子家庭の保護者と18歳未満の子どもの医療費に係る経済的負担を軽減することにより、必要な医療を受けやすくする環境をつくり、疾病の早期発見・早期治療及び重症化・長期化の予防につなげることができた。					
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	05老人医療給付費	01老人医療給付事業	
細事業名	01 老人医療給付事業			決算書	P.146
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目 ② 医療保険制度の一層の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
134,708千円	134,715千円	7千円	99.9%	126,072千円	

目的	医療費の軽減により、65歳以上70歳未満の高齢者の健康を保持し、老後の明るい暮らしと福祉の向上を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	65歳以上70歳未満の高齢者の本人及び世帯の所得状況により、受給資格の判定を行い、老人医療費受給者証を交付することにより医療機関で一部負担金を助成した。					
	○受給者数（平成26年3月31日現在） 2,623人（2,417人）					
	65歳以上70歳未満の高齢者数 4,539人（4,299人）					
	受給率 57.7%（56.2%）					
	（ ）内は前年度					
	・審査支払手数料（国保連合会・支払基金） 2,216 千円					
	・老人医療給付費 130,836 千円					
	〔医療給付費の状況〕（単位：件、千円、%）					
	年度	現物給付		現金給付		合計
		件数	金額	件数	金額	件数 金額
23	25,205	107,322	2,404	9,845	27,609 117,167	
24	25,219	109,043	2,237	8,226	27,456 117,269	
25	28,059	120,866	2,773	9,970	30,832 130,836	
対前年	2,840	11,823	536	1,744	3,376 13,567	
	111.3	110.8	124.0	121.2	112.3 111.6	
・その他事務経費（旅費、郵送料、事務用品等） 529 千円						
・臨時特例対応のためのシステム改修負担金 1,127 千円						
※平成26年4月から現在の老人医療の対象である「65歳～70歳未満」を「65歳～71歳未満」として1年に限り対象範囲を拡大することに対応するためのシステム改修費						
主な財源	府補 老人医療助成事業費補助金（2/3） 86,298千円			府補 老人医療助成事業施行事務費補助金（1/2） 1,304千円		
	府補 老人医療臨時特例助成事業費補助金（10/10） 1,137千円			諸収入 福祉医療返還金 6千円		
評価・課題等	○高齢者の経済的負担の軽減を図ることで安心して医療が受けられ、疾病の重症化、慢性化を防ぐ効果があった。 ○平成26年4月からの臨時特例（現在の老人医療の対象である「65歳～70歳未満」を「65歳～71歳未満」として1年に限り対象範囲を拡大）に対応するため、システム改修を行った。					
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	06老人保健医療事務費	01老人保健医療事業		
細事業名	01 老人保健医療事業			決算書	P.146	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	② 医療保険制度の一層の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
188千円	196千円	8千円	95.9%	106千円		

目的	老人保健制度の清算業務を円滑に進める。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人保健制度の清算を円滑に進めるための事務等経費であり、平成25年度は、支払基金・国及び府への返還金だけの支出であった。 なお、老人保健制度は平成20年3月で制度廃止されており、同年4月からは後期高齢者医療制度が創設された。</p> <p>○償還金利子及び割引料 188千円 社会保険診療報酬支払基金・国・府への返還金</p> <p>平成20年度交付額確定分 68千円 平成21年度交付額確定分 17千円 平成24年度交付額確定分 103千円 返還金合計 188千円</p>					
主な財源						
評価・課題等	老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行に伴う清算業務を適切に実施することができた。					
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	07後期高齢者医療費	01後期高齢者医療事業		
細事業名	01 後期高齢者医療事業			決算書	P.148	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	② 医療保険制度の一層の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
748,484千円	748,485千円	1千円	99.9%	748,485千円		

目的	75歳以上(65歳以上の一定の障害のある方を含む)の高齢者が加入する後期高齢者医療制度を運営する「京都府後期高齢者医療広域連合」への事務費及び療養給付費負担金。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○後期高齢者医療広域連合分賦金 19,497千円 広域連合を運営するための事務経費を府内の市町村で負担するもの 負担割合：均等割(5%)、高齢者人口割(47.5%)、人口割(47.5%)</p> <p>○療養給付費負担金 728,987千円 「高齢者の医療の確保に関する法律」第98条の規定による市町村の負担金 後期高齢者医療費の負担割合は、保険料：10.51%、支援金：39.49%、公費：50% 公費50%のうち、市町村は全体の1/12を負担する。</p> <p>【療養給付費負担金の積算】</p> $\text{平成22年度給付費総額(京都府)} \times \frac{\text{平成23年度給付費総額(京丹後市)}}{\text{平成23年度給付費総額(京都府)}} \times 1/12$ $283,526,462千円 \times \frac{7,848,276千円}{254,370,385千円} \times 1/12 = 728,987千円$ <p>※この負担金は、京丹後市被保険者の医療給付の実績に応じて積算。 <参考> 平成24年度療養給付費負担金 688,961千円 40,026千円の増額 伸び率：5.81%</p>					
主な財源						
評価・課題等	後期高齢者医療に係る療養給付費の定率負担割合は1/12(市町村)となっているが、年々急速に伸びる医療費により、給付負担額は増加している。今後さらなる医療費の適正化に向けての広報、保健事業の充実等の取組が必要である。あわせて、広域連合、京都府との一層連携した取り組みの強化も必要である。					
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	07後期高齢者医療費	02後期高齢者医療事業特別会計繰出金
細事業名	01 後期高齢者医療事業特別会計繰出金			決算書 P.148
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	② 医療保険制度の一層の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
207,149千円	207,149千円	0千円	100.0%	213,826千円
目的	後期高齢者医療制度の運営を円滑に行うために、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき一般会計会計から後期高齢者医療事業特別会計への繰出しを行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p><後期高齢者医療事業特別会計繰出金></p> <p>○事務費繰出金 6,569千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般管理費 4,472千円 被保険者証の送付、各療養費支給決定通知等に係る事務経費 徴収費 2,097千円 保険料の徴収等事務経費 <p>○保険基盤安定負担金繰出金 200,580千円</p> <p>～「高齢者の医療の確保に関する法律」第99条の規定による市町村の負担金～</p> <p>後期高齢者医療保険料の軽減分を京都府及び市で負担し、後期高齢者医療事業特別会計に繰出すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市負担分 (1/4) 50,145千円 京都府負担分 (3/4) 150,435千円 <p>※低所得者に対する軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> 9割軽減 2,372人 71,576千円 8.5割軽減 2,901人 88,344千円 5割軽減 413人 9,031千円 2割軽減 757人 6,527千円 <p>※被用者保険の被扶養者であった方に対する軽減 (5割軽減)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1,146人 25,102千円 <p>合計 7,589人 200,580千円</p>			
主な財源	府負	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	150,435千円	
評価・課題等				
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業
細事業名	01 放課後児童健全育成事業			決算書 P.148
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
111,858千円	112,083千円	225千円	99.7%	117,436千円
目的	保護者の就労等により、放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>保護者の就労等により、放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない小学校1年生から4年生の児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。</p> <p>○開設状況</p> <p>年間開設日数：286日</p> <p>開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～）</p> <p>年間平均児童数：352人（前年度比15人増）</p> <p>〔 峰山52人・峰山長岡25人・峰山吉原18人・大宮58人・大宮周枳35人 網野13人・網野南24人・網野北30人・丹後14人・弥栄39人・久美浜44人 〕</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 3,638千円</p> <p>○委託料（消防設備等保守点検、児童送迎車運転） 8,516千円</p> <p>○放課後児童健全育成事業委託料 98,253千円</p> <p>○工事請負費（口大野放課後児童クラブ開設準備・トイレ改修工事） 210千円</p> <p>○その他の経費 1,241千円 役員費、公課費ほか</p>			
主な財源	使用料	放課後児童健全育成事業利用料	23,511千円	
	使用料	公有財産使用料	7,363千円	
	国補	のびのび育つことも応援事業費補助金 (2/3)	19,302千円	
	府補	のびのび育つことも応援事業費補助金 (2/3)	1,793千円	
評価・課題等	<p>○児童に安心して生活できる場を継続的に提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めることができた。同時に、保護者に対しては、仕事と子育ての両立支援を図ることができた。</p> <p>○共働きや一人親家庭等の増加に伴い、放課後児童クラブへの利用希望は年々増加していることや、施設の老朽化等から受け入れ施設の確保が課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業
細事業名	01 放課後児童健全育成事業（繰越）			決算書 P.150
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額
36,320千円	38,575千円	2,255千円	94.1%	38,575千円
目的	峰山統合保育所の建築に伴って、峰山放課後児童クラブを移設する必要性が生じたため、その移設先の新山保育所旧施設の耐震補強等の整備を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>峰山放課後児童クラブの移設先とした新山保育所旧施設の一部解体と耐震補強・一部改修工事を行った。</p> <p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・新山保育所旧施設耐震補強及び改修等工事設計管理業務委託（監理業務分） 1,575千円 ○工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> ・新山保育所旧施設耐震補強及び改修等工事 34,521千円 ・新山保育所旧施設光ケーブル撤去工事 210千円 ○役務費 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料（水道開栓、電話移設等） 14千円 			
主な財源	市債	放課後児童健全育成施設整備事業債（合併事業債）	25,800千円	
評価・課題等	移設先の旧新山保育所施設の耐震補強及び改修等工事を実施・完了し、平成25年9月2日から新施設として峰山放課後児童クラブの運営を開始することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	04家庭こども相談室事業																																																							
細事業名	01 家庭こども相談室事業			決算書 P.150																																																							
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援																																																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																							
512千円	526千円	14千円	97.3%	232千円																																																							
目的	家庭における児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																																										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>家庭における児童の福祉の向上のため、支援の必要な児童や家庭（児童虐待・育児不安・養育危惧・不登校等）について、相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行うとともに、要保護児童対策地域協議会の充実と連携を深め、情報の共有と協議・支援・対応を行った。</p> <p>○事業実績額</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>京丹後市要保護児童対策地域協議会講師謝金（1回）</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>担当者会議・協議支援・研修旅費等</td> <td>88千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費・メッセージ入りウェットティッシュ等</td> <td>205千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>通信費（専用携帯電話通話費）</td> <td>3千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>ソフトウェア購入費（虐待防止システムアクセス用）</td> <td>15千円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>キャビネット・携帯電話（2台）</td> <td>91千円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>京都府家庭相談員連絡協議会負担金</td> <td>10千円</td> </tr> </table> <p>○京丹後市児童相談等取扱件数（児童票を起こしているもの）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>児童虐待</td> <td>99</td> <td rowspan="4">育成</td> <td>性格</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>141</td> <td>不登校</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>0</td> <td>適正</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>1</td> <td>育児・しつけ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>非行</td> <td>7</td> <td>再掲</td> <td>(いじめ)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td colspan="2">計</td> <td>288</td> </tr> </tbody> </table>				報償費	京丹後市要保護児童対策地域協議会講師謝金（1回）	100千円	旅費	担当者会議・協議支援・研修旅費等	88千円	需用費	消耗品費・メッセージ入りウェットティッシュ等	205千円	役務費	通信費（専用携帯電話通話費）	3千円	使用料	ソフトウェア購入費（虐待防止システムアクセス用）	15千円	備品購入費	キャビネット・携帯電話（2台）	91千円	負担金	京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	99	育成	性格	9	その他	141	不登校	22	保健	0	適正	1	障害	1	育児・しつけ	7	非行	7	再掲	(いじめ)	0	その他	1	計		288
報償費	京丹後市要保護児童対策地域協議会講師謝金（1回）	100千円																																																									
旅費	担当者会議・協議支援・研修旅費等	88千円																																																									
需用費	消耗品費・メッセージ入りウェットティッシュ等	205千円																																																									
役務費	通信費（専用携帯電話通話費）	3千円																																																									
使用料	ソフトウェア購入費（虐待防止システムアクセス用）	15千円																																																									
備品購入費	キャビネット・携帯電話（2台）	91千円																																																									
負担金	京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円																																																									
種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																																																						
養護	児童虐待	99	育成	性格	9																																																						
	その他	141		不登校	22																																																						
保健	0	適正		1																																																							
障害	1	育児・しつけ		7																																																							
非行	7	再掲	(いじめ)	0																																																							
その他	1	計		288																																																							
主な財源	府補	子育て支援特別対策事業費補助金（10/10）	270千円																																																								
評価・課題等	<p>○家庭訪問・面談・電話相談の実施、ケース検討会議開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への支援や対応を行うことができた。</p> <p>○メッセージ入りウェットティッシュを配架・配布することにより、家庭子ども相談室の周知を図り、身近に感じて貰えるような取組や子育て支援につなげることができた。</p> <p>○適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を深めるとともに、関係機関との連携を深めていく必要がある。</p>																																																										
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																										

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	05ファミリー・サポート-事業	
細事業名	01 ファミリー・サポート-事業			決算書	P.150
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
164千円	200千円	36千円	82.0%	200千円	
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>まかせて会員に登録されてから5年を経過する方を対象に、子どもの世話や発達に関する知識の再確認のための5年目更新講習会を実施。会員を対象とした交流会では会員同士の交流を深めた。</p> <p>○実施事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員登録講習会及び5年目更新講習会 参加者 3人 ・ 会報誌発行 (1回・125部・A4を2枚) ・ ファミサポ会員交流会 平成26年3月18日開催 参加者6人 <p>○会員数 (26年3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おねがい会員 75人 (平成25年3月末 84人) ・ まかせて会員 30人 (平成25年3月末 34人) ・ 両方会員 6人 (平成25年3月末 7人) <p>※活動延件数 2件 (平成25年3月末 164件) ※利用者実人数 1人 (平成25年3月末 11人)</p> <p>○事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償費 (ファミサポ会員交流会「楽しんでできるヨガ」) 5千円 消耗品費 35千円 補償保険料 (サービス提供会員傷害保険I・依頼子供傷害保険B:各2人分) 51千円 ネットワーク事業参加負担金 52千円 研修旅費 (ファミサポネットワーク事業交流集会:1人、ファミサポ担当者会議:1人) 21千円 				
主な財源	府補	子育て支援特別対策事業費補助金	78千円		
評価・課題等	援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上が図れた。また、会報誌を発行し、センターに関する情報を周知できた。				
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	06母子家庭等対策総合支援事業	
細事業名	02 高等技能訓練促進費事業			決算書	P.150
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
1,152千円	1,200千円	48千円	96.0%	1,200千円	
目的	就職に有利な資格を取得しようとするひとり親家庭の母や父に対して、受講期間における生活の経済的負担の軽減を図り、就業によるひとり親家庭の経済的自立の促進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【支給額】 月額100,000円 (市町村民税非課税世帯) 月額 88,000円 (市町村民税課税世帯)</p> <p>【支給期間】 修業期間の全期間 (平成25年度入学者から上限2年)</p> <p>○高等技能訓練促進費 1,152千円 対象者数:1人 (京都府立看護学校平成25年度入学者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～7月分:課税世帯 (88,000円/月) ・ 8月～3月分:非課税世帯 (100,000円/月) 				
主な財源	国補	母子家庭等対策総合支援事業費補助金	811千円		
評価・課題等	○ひとり親家庭に対し、高等技能訓練促進給付金を支給することにより、その家庭の受講期間の生活の経済的負担を軽減することができた。 ○さらに制度の周知を行っていく必要がある。				
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課				

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	06母子家庭等対策総合支援事業		
細 事 業 名	05 ひとり親家庭自立促進計画策定事業			決算書	P.150	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
136千円	137千円	1千円	99.2%	246千円		
目的	平成21年4月に策定した第1次ひとり親家庭等自立促進計画（平成21年度～平成25年度）に引き続き、平成26年度からの第2次ひとり親家庭等自立促進計画を策定する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○需用費</p> <p>第2次ひとり親家庭等自立促進計画書印刷製本費 136千円 （製本版 350部、ダイジェスト版 1,000部）</p>					
主な財源						
評価・課題等	ひとり親家庭等の現状や施策を検証し、引き続きひとり親家庭等のきめ細かな福祉サービスと自立支援を総合的かつ計画的に推進していくための計画の改定を行うことができた。					
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課					

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	07子ども未来まちづくり審議会事業		
細 事 業 名	01 子ども未来まちづくり審議会事業			決算書	P.152	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
166千円	184千円	18千円	90.2%	184千円		
目的	子ども・子育て支援事業計画策定に係る審議及び保育所再編等推進計画の進行管理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成27年4月から子ども・子育て支援新制度に向けた子ども・子育て支援事業計画の策定、公設民営で運営を行っていた2保育所の民設民営化への移行等について、審議会を開催した。</p> <p>○ 報酬（審議会委員） 委員：10人 4回開催 148千円 ○ 旅費（費用弁償） 18千円</p> <p>審議会開催状況</p> <p>平成25年5月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市保育所再編等推進計画の進行状況について 子ども・子育て支援事業について 京丹後市子ども未来まちづくり審議会条例について <p>平成25年9月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会の運営について 京丹後市子ども・子育て支援事業計画について 京丹後市子ども・子育て支援に関するニーズ調査について 京丹後市立保育所の民営化について <p>平成25年10月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市立保育所の民設民営（完全民営化）について 京丹後市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について <p>平成26年1月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査中間集計報告 京丹後市立保育所の民営化に関する方向性について 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○市立保育所の民設民営（完全民営化）について審議会で慎重に審議を行い、2保育所を完全民営化に移行することができた。</p> <p>○ニーズ調査結果を事業計画に反映させるため、審議会を開催し多分野からの意見を集約することができた。今後も子ども・子育て支援事業計画策定に向けて審議会を開催するが、子育て支援に対するニーズの多様化、制度の複雑化により、審議内容が多く委員の負担が増えていることから、わかりやすい資料の提供と要点を絞った説明を行う必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	09子ども・子育て支援事業		
細事業名	01 子ども・子育て支援事業			決算書	P.152	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
1,597千円	1,613千円	16千円	99.0%	0千円		

目的	「京丹後市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保等を図る。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査を実施し、分析と課題整理を行い、子ども未来まちづくり審議会に報告を行った。また、調査結果の分析と課題を基に、事業計画骨子の作成を行った。</p> <p>○ 役務費 232千円 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 調査期間 平成25年11月15日～平成25年12月1日 調査方法 郵送配布、郵送回収による郵送調査法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査票</th> <th>調査対象者数 (配布数)</th> <th>有効回答数</th> <th>有効回答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学前児童家庭</td> <td>1,937</td> <td>858</td> <td>44.3%</td> </tr> <tr> <td>小学生児童家庭</td> <td>600</td> <td>283</td> <td>47.2%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,537</td> <td>1,141</td> <td>45.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 委託料 1,365千円 子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料 業務内容 ① ニーズ調査 ② 子育て支援に関する現状の分析と課題の整理 ③ ニーズ調査に基づく子育て支援の事業量の見込み・設定 ④ 事業計画骨子の策定 ⑤ 事業実施に係る条例等の整備に向けた支援 ⑥ 子ども未来まちづくり審議会運営支援</p>			調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回答数	有効回答率	就学前児童家庭	1,937	858	44.3%	小学生児童家庭	600	283	47.2%	合計	2,537	1,141	45.0%
調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回答数	有効回答率																
就学前児童家庭	1,937	858	44.3%																
小学生児童家庭	600	283	47.2%																
合計	2,537	1,141	45.0%																
主な財源																			
評価・課題等	ニーズ調査により、子育て支援に関する、現状の課題を把握することができた。また、調査結果に基づき事業計画の骨子を作成し、平成26年度での計画策定に向けた準備を整えることができた。																		
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	50児童福祉総務一般経費		
細事業名	01 児童福祉総務一般経費			決算書	P.152	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
591千円	647千円	56千円	91.3%	616千円		

目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な公用車管理及び火災保険料等の経費		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p><支出内訳></p> <p>○ 旅費 31千円 ・ 関係機関との会議、協議のための旅費等</p> <p>○ 公用車管理経費 560千円 ・ 燃料代、修繕料、保険料等</p>		
主な財源			
評価・課題等	支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に実施することができた。		
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	01児童手当支給事業																																	
細事業名	01 児童手当支給事業			決算書	P.152																																
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援																																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																	
870,597千円	870,603千円	6千円	99.9%	902,389千円																																	
目的	児童手当を支給することで、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援する。																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	○児童手当給付費：平成25年2月～H26.1月支給内訳 868,400千円																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>支給月額</th> <th>延対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0～3歳未満</td> <td>被用者</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>7,757人</td> <td>116,355千円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>3,077人</td> <td>46,155千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳以上～</td> <td>第1.2子</td> <td>10,000円</td> <td>39,020人</td> <td>390,200千円</td> </tr> <tr> <td>小学校修了前 第3子以降</td> <td>15,000円</td> <td>7,783人</td> <td>116,745千円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>10,000円</td> <td>19,351人</td> <td>193,510千円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td></td> <td>5,000円</td> <td>1,087人</td> <td>5,435千円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分		支給月額	延対象児童数	支給額	0～3歳未満	被用者	15,000円	7,757人	116,355千円	非被用者	3,077人	46,155千円	3歳以上～	第1.2子	10,000円	39,020人	390,200千円	小学校修了前 第3子以降	15,000円	7,783人	116,745千円	中学生		10,000円	19,351人	193,510千円	特例給付		5,000円	1,087人
区 分		支給月額	延対象児童数	支給額																																	
0～3歳未満	被用者	15,000円	7,757人	116,355千円																																	
	非被用者		3,077人	46,155千円																																	
3歳以上～	第1.2子	10,000円	39,020人	390,200千円																																	
	小学校修了前 第3子以降	15,000円	7,783人	116,745千円																																	
中学生		10,000円	19,351人	193,510千円																																	
特例給付		5,000円	1,087人	5,435千円																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	○事務経費内訳 2,197千円																																				
	消耗品費 100千円 印刷製本費 115千円 郵送料 964千円 委託料（事務補助業務人材派遣委託料） 1,018千円																																				
主な財源	国負	児童手当負担金				597,033千円																															
	府負	児童手当負担金				135,683千円																															
評価・課題等	児童手当法に基づく事務を適正に行い、児童手当を支給することができた。																																				
	事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																																			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	02児童扶養手当等支給事業		
細事業名	01 児童扶養手当等支給事業			決算書	P.152	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
217,830千円	217,838千円	8千円	99.9%	221,166千円		
目的	離婚等により父親若しくは母親のいない家庭の児童、身体や精神に中程度以上の障害のある児童が健やかに成長するよう、その家庭の生活の安定と自立を促進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	離婚等により父親若しくは母親のいない家庭の児童の心身が健やかに成長するように、その家庭の生活の安定と自立のため、その児童を監護する母または父等に児童扶養手当を支給した。（支給金額：全部支給41,430円。一部支給9,780円～41,420円。児童2人は5,000円、3人はさらに3,000円加算） また、身体や精神に中程度以上の障害のある児童を家庭で養育、介護している保護者に対して支給される特別児童扶養手当について、京都府への申請書等の進達事務を行った。（支給金額：1級50,400円、2級33,570円） ※単価はH25.4.1現在					
	○児童扶養手当					
		平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末		
ひとり親家庭数		688世帯	686世帯	679世帯		
児童扶養手当対象者		547人	547人	549人		
うち新規認定者		59人	67人	62人		
児童扶養手当受給者		479人	462人	464人		
※ひとり親家庭の内訳（母子家庭562世帯、父子家庭117世帯）						
※平成26年3月末児童扶養手当対象者の内訳						
全部支給：230人、一部：234人、全部停止：85人 合計：549人						
○特別児童扶養手当						
対象者数：102人（うち平成25年度新規認定者：18人）						
<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当管理システム保守委託料 299千円 児童扶養手当管理システム改修委託料 263千円 児童扶養手当給付費 216,075千円 過年度児童扶養手当給付費国庫負担金返還金 723千円 その他事務費（旅費、消耗品費、通信運搬費） 470千円 						
主な財源	国負	児童扶養手当給付費国庫負担金				72,260千円
	国委	特別児童扶養手当事務委託金				150千円
評価・課題等	○離婚等によりひとり親となった家庭に対し、手当を支給することにより、その家庭の生活の安定と自立促進を行うことができた。 ○支給可能な世帯の申請漏れがないよう、今後も関係課と連携を密にするとともに制度の周知を図ることが必要である。					
	事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	03児童入所施設措置事業													
細事業名	01 児童入所施設措置事業			決算書	P.152												
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目 ① 子育ての支援														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額													
330千円	361千円	31千円	91.4%	1,030千円													
目的	母等と監護される児童が福祉に欠ける場合には母子生活支援施設に母子を保護し、経済的理由で入院助産ができない場合は助産施設に措置することで、福祉の向上を図る。																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○母子生活支援施設入所措置について 平成25年度の入所者：2人（1世帯） （京都府立東山ファミリーホーム入所のため、負担金なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設職員と合同研修会職員旅費 10千円 施設入所面談職員旅費 4千円 有料道路通行料 3千円 （施設職員とカンファレンス） <p>○助産施設入所措置について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 助産施設入所措置費（1件） 313千円 （1件は京都府立医科大学附属北部医療センターのため、負担金なし） 						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	利用件数	1	0	1	1	2
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度												
利用件数	1	0	1	1	2												
主な財源	国負	児童入所施設措置費等負担金（1/2）	234千円														
	府負	児童入所施設措置費等負担金（1/4）	79千円														
評価・課題等	DV被害者等に対して、保護、支援を行うとともに、経済的に入院助産が受けられない妊産婦に対して指定助産施設の提供を行うことで、安心して出産を行うための支援ができた。																
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	02保育所管理運営事業																																									
細事業名	01 保育所管理運営事業			決算書	P.154																																								
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目 ① 子育ての支援																																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																									
166,040千円	167,490千円	1,450千円	99.1%	170,016千円																																									
目的	保護者の就労等で、家庭での保育に欠ける児童を保護者に代わって保育するとともに、入所する児童にとってふさわしい生活の場となるよう環境整備を図る。																																												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>16保育所において、保護者の就労等により保育に欠ける児童を保育するため、保育材料費、賄材料費や施設の維持管理経費など、必要な経費を支出した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保育所数</th> <th>3歳未満児童数</th> <th>3歳以上児童数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2(5)</td> <td>18</td> <td>146</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2</td> <td>99</td> <td>217</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>4</td> <td>84</td> <td>184</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>2</td> <td>41</td> <td>111</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>3(5)</td> <td>32</td> <td>104</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>3(5)</td> <td>76</td> <td>206</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16(23)</td> <td>350</td> <td>968</td> <td>1,318</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設保育所及び保育所の合計。カッコ内は条例上の保育所数。（H26.3.31現在）</p> <p>〔支出内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育所の運営に関する経費（103,252千円） <ul style="list-style-type: none"> 保育材料費ほか消耗品費 16,780千円 給食賄材料費 84,124千円 施設備品、保育備品 1,355千円 コピー機借上料 507千円 砂場の砂、園庭の土 281千円 その他運営費 205千円 施設の維持管理に関する経費（62,788千円） <ul style="list-style-type: none"> 燃料費、光熱水費 43,118千円 通信運搬費 1,581千円 施設・備品等一般修繕 2,678千円 清掃用具借上料ほか 393千円 手数料 309千円 浄化槽維持管理 1,953千円 施設警備委託料 911千円 その他委託料 3,208千円 施設改修等工事 <ul style="list-style-type: none"> 保育所遊具更新工事（峰山、網野、浅茂川、網野みなみ、島津、たちばな、丹後、宇川保育所） 6,359千円 浅茂川保育所樋修繕工事ほか 2,278千円 						保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計	峰山町	2(5)	18	146	164	大宮町	2	99	217	316	網野町	4	84	184	268	丹後町	2	41	111	152	弥栄町	3(5)	32	104	136	久美浜町	3(5)	76	206	282	計	16(23)	350	968	1,318
	保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計																																									
峰山町	2(5)	18	146	164																																									
大宮町	2	99	217	316																																									
網野町	4	84	184	268																																									
丹後町	2	41	111	152																																									
弥栄町	3(5)	32	104	136																																									
久美浜町	3(5)	76	206	282																																									
計	16(23)	350	968	1,318																																									
主な財源	負担金	保育料現年度分	79,704千円																																										
	諸収入	保育所職員給食費	12,960千円																																										
	諸収入	延長保育間食負担金	258千円																																										
	諸収入	幼稚園給食費	3,471千円																																										
評価・課題等	<p>○保育に欠ける児童を待機させることなく保育することができ、保育所として円滑な運営を実施することができた。</p> <p>○施設の老朽化が進む中、修繕等の維持管理経費が増加することが予測されるため、計画的に修繕を行っていく必要がある。</p>																																												
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																												

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業
細事業名	01 保育業務委託事業			決算書 P.156
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
232,341千円	232,389千円	48千円	99.9%	241,070千円
目的	保護者の就労環境の変化等により、家庭で保育に欠ける乳児や児童の健全な心身の発達を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に、2か月以上児から2歳児までの保育を委託し、産休明け・育休明けの保育ニーズに対応するとともに、公立保育所である「峰山保育所」「網野保育所」の運営を社会福祉法人に委託して保育時間の延長や休日保育など、保護者の保育ニーズに対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳児保育委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり乳児保育所 55,042 千円 <ul style="list-style-type: none"> 定員30人 平成26年3月末入所児童数： 35人 ○保育所運営委託料 177,299 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・峰山保育所 108,600 千円 <ul style="list-style-type: none"> 定員150人 平成26年3月末入所児童数：147人 通常保育業務 88,249千円 延長保育業務 6,717千円 休日保育業務（利用延べ児童数 239人） 1,410千円 障害児保育業務 7,767千円 一時預かり業務（利用延べ児童数 231人） 1,942千円 その他（民間社会福祉施設サービス向上事業等） 2,515千円 ・網野保育所 68,699 千円 <ul style="list-style-type: none"> 定員90人 平成26年3月末入所児童数： 73人 通常保育業務 57,730千円 延長保育業務 6,717千円 休日保育業務（利用延べ児童数 221人） 1,410千円 一時預かり業務（利用延べ児童数 4人） 1,942千円 その他（民間社会福祉施設サービス向上事業） 900千円 			
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 負担金 保育料現年度分 67,562千円 国負 保育所運営費負担金（1/2） 21,486千円 府負 保育所運営費負担金（1/4） 10,743千円 府補 京都府子育て支援特別対策事業費補助金（1/2）、休日・夜間保育事業費補助金（2/3）ほか 2,890千円 諸収入 延長保育利用料、一時預かり事業利用料、休日保育利用料 2,037千円 			
評価・課題等	<p>○保育希望者全員を受け入れることができた。 ○保育所運営委託に伴って、引き続き、保育時間の延長、休日保育などを実施して、保護者の子育てと仕事の両立支援につながった。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業
細事業名	02 保育所保育事業等補助金			決算書 P.156
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,374千円	7,375千円	1千円	99.9%	5,363千円
目的	事業の円滑な運営ができるよう体制作り等に対して補助金を交付し、乳児保育等の特別保育事業を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>民間認可保育所である「ゆうかり乳児保育所」が行う延長保育などに対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゆうかり乳児保育所保育事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育促進事業 4,869千円 <ul style="list-style-type: none"> 延長保育実施のための人件費等 延長保育利用児童数 年間延べ304人 ・民間社会福祉施設サービス向上事業 510千円 <ul style="list-style-type: none"> （保育室の床張替及び床暖房設置工事） ・保育士等処遇改善臨時特例事業 1,195千円 <ul style="list-style-type: none"> 保育士等17人の賃金改善を実施 ・障害児保育事業 800千円 <ul style="list-style-type: none"> 加配職員の人件費 			
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 府補 延長保育促進事業費補助金（2/3） 3,246千円 府補 民間社会福祉施設サービス向上補助金（1/2） 253千円 府補 京都府子育て支援特別対策事業費補助金（10/10） 1,195千円 			
評価・課題等	<p>○乳児の延長保育の実施により、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○施設修繕及び加配職員配置への支援を行うことで、乳児保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応した。 ○保育士の処遇改善への支援を行うことで、人材確保を図り保育の質の向上を推進した。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援センター事業
細事業名	01 子育て支援センター事業			決算書 P.156
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,155千円	10,196千円	41千円	99.5%	10,732千円

目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。					
主要な事務・事業及び成果の概要	幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、7か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育てを推進した。 また、11月5日に開催した子育て講演会「うたって踊って楽しく子育て」は、参加者から好評であった。参加者は保護者75人、子ども79人、計154人であった。					
	○ 家庭内で子育てをしている保護者の育児を支援する事業					
	形態	実施場所	実績額	延利用人数		
				うち職員人件費	児童	保護者
	センター型	大宮南保育所	9,619	8,292	1,852人	1,569人
	ひろば型	峰山保育所	2,513	-	1,336人	1,142人
		大宮北保育所	9,672	8,505	1,628人	1,449人
		網野みなみ保育所	9,806	8,582	2,112人	1,871人
		丹後こども園	9,927	8,717	1,367人	1,214人
		溝谷集会施設	1,494	-	1,353人	961人
こうりゅう保育所		9,847	8,649	2,324人	2,003人	
	事務局	22	-	-	-	
	合計	52,900	42,745	11,972人	10,209人	
※決算額(10,155千円)は実績額から職員人件費を除いた額						
	○ 臨時職員賃金及び共済費(12人)	8,757千円				
	○ 子育て講座・親子体操教室講師謝礼	192千円				
	○ 駐車場使用料(峰山地域子育て支援センター)	338千円				
	○ 溝谷集会施設使用料(弥栄地域子育て支援センター)	46千円				
	○ 通信運搬費	263千円				
	○ その他経費(職員研修旅費、消耗品費、燃料費等)	559千円				

主な財源	府補 子育て支援特別対策事業費補助金	5,077千円
------	--------------------	---------

評価・課題等	○保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進が図られた。 ○市内7か所の支援センターにおける年間延べ利用者数は、保護者10,209人、児童11,972人と昨年度より多くの利用があった。 ○同じクラスでも日によって利用者数に大きな差があることから、利用日の調整を行うなどの工夫が必要である。	
--------	--	--

事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課
-------	-----------------

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	05子育て短期支援事業
細事業名	01 子育て短期支援事業			決算書 P.158
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
437千円	437千円	0千円	100.0%	973千円

目的	保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で養育することが一時的に困難となった場合に、該当児童を乳児院等で一定期間養育を行い、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。		
主要な事務・事業及び成果の概要	家庭において、保護者が疾病その他の理由において児童を養育することが一時的に困難となった児童(小学校第4学年までの者)に対し、峰山乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託し実施した。 (延べ利用児童数115人)		
	○ 子育て短期支援事業		
	子育て短期支援事業委託料		437千円
	(述べ利用児童数等)		
	0、1歳児	生活保護世帯(利用なし) 母子父子・非課税世帯(利用なし) その他の世帯(14人)	75千円
	2歳児以上	生活保護世帯(利用なし) 母子父子・非課税世帯(48人) その他の世帯(53人)	216千円 146千円

主な財源	府補 子育て支援特別対策事業費補助金	218千円
------	--------------------	-------

評価・課題等	○保護者の傷病・冠婚葬祭・就労・学校等行事への参加による一時的な利用及び保護者の育児疲れ等による短期間の利用があり、養育を必要とする児及びその家庭の福祉向上につなげることができた。 ○直前での申し込みに対応できない場合があるので、委託先である社会福祉法人みねやま福祉会と協議し、緊急時の対応ができる体制を検討する必要がある。	
--------	---	--

事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課
-------	-----------------

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	06保育所整備事業	
細事業名	01 保育所整備事業			決算書	P.158
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
13,103千円	13,103千円	0千円	100.0%	16,100千円	
目的	湊保育所旧施設は、建築基準法の新耐震基準を満たさない診断結果の施設であり、土地が借地であることから、解体撤去及び敷地を整地して用地を返却するもの。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>建物及び付帯設備の解体撤去に加え敷地整地を実施した。</p> <p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役務費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道工事検査手数料 2千円 ○ 委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計・監理委託業務 1,029千円 ○ 工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧湊保育所施設解体と敷地整備工事 12,072千円 				
主な財源					
評価・課題等	解体撤去により土地を返却することができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08峰山統合保育所整備事業							
細事業名	01 峰山統合保育所整備事業			決算書	P.158						
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額							
239,343千円	1,455,778千円	1,216,435千円	16.4%	112,857千円							
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、吉原、長岡、新山、丹波の4保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一體的に整備する。										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成26年度中に開所するため、新施設予定地にある峰山放課後児童クラブ建物の解体工事及び水道本管布設工事を実施した。また、新施設の用地造成工事に加え新築工事（建築主体工事・電気設備工事）に着手した。</p> <p>仮設により運営している保育所については、新施設開所までの間、仮設保育所にて児童を保育するため、園舎のリース料を支払った。</p> <p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役務費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認申請手数料、開発行為許可申請手数料ほか 442千円 ○ 委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽清掃等委託料 38千円 ○ 使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 峰山管内仮設保育所賃借業務（リース料） 4,133千円 ○ 工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 峰山放課後児童クラブ解体工事（峰山町長岡1677-2） 12,161千円 ・ 水道本管布設工事 1,587千円 ・ 用地造成工事（前払金） 15,000千円 ・ 建築主体工事（前払金） 150,000千円 ・ 電気設備工事（前払金） 55,860千円 ○ 補償補填及び賠償金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 架空配電線路の移設補償（関西電力） 122千円 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>239,345千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地造成工事 ※平成26年5月完成 89,500千円 ・ 新築工事、意図伝達・工事監理業務ほか ※平成27年2月完成予定 1,126,933千円 					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	239,345千円		実質的な予算執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	239,345千円									
	実質的な予算執行率	99.9%									
主な財源	府補	未来づくり交付金（峰山統合保育所整備事業）	2,000千円								
	市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債（一般財源化分））	65,300千円								
	市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）	160,800千円								
評価・課題等	<p>○新築工事に向け既存建物の解体及び水道本管を布設することができた。</p> <p>○造成工事及び新築工事の着手により、平成26年度中の開所に向けた取組をすることができた。</p>										
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課										

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08峰山統合保育所整備事業
細事業名	01 峰山統合保育所整備事業（繰越）			決算書 P.158
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考) 繰越予算額
19,653千円	21,500千円	1,847千円	91.4%	21,500千円
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、吉原、長岡、新山、丹波の4保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成26年度中の開所を目指し、用地測量設計・開発行為許可申請業務及び新築工事設計業務を実施した。</p> <p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地測量設計・開発行為許可申請業務 8,155 千円 ・ 新築工事設計業務 11,498 千円 			
主な財源	市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債(一般財源化分)）	3,500千円	
	市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）	15,300千円	
評価・課題等	新築工事に向け、用地造成工事及び新築工事の準備を整えることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	09弥栄統合保育所整備事業
細事業名	01 弥栄統合保育所整備事業			決算書 P.158
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考) 当初予算額
5,754千円	14,891千円	9,137千円	38.6%	27,310千円
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、和田野、鳥取、黒部、溝谷、吉野の5保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成27年4月に開所するため、未登記用地の整理に加え境界確定、用地測量及び地質調査を実施した。</p> <p>また、新築工事設計業務委託を実施した。</p> <p><<支出内訳>></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地測量業務 1,559 千円 ・ 未登記用地の整理業務 1,048 千円 ・ 土地境界確定業務 299 千円 ・ 地質調査業務 2,848 千円 			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	5,756千円	
		実質的な予算執行率	99.9%	
	<p>■平成26年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施設計委託料 ※平成26年5月完成 8,925 千円 ・ 建築確認申請手数料 ※平成26年5月完成 210 千円 			
主な財源	市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債(一般財源化分)）	700千円	
	市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）	4,800千円	
評価・課題等	新築工事に向け土地の整理に加え測量及び地質調査ができた。また、設計業務を発注し新築工事の準備を整えることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	10久美浜統合保育所整備事業
細事業名	01 久美浜統合保育所整備事業			決算書 P.158
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
262,771千円	801,101千円	538,330千円	32.8%	736,486千円
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、湊、田村、神野の3保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度から引き続き久美浜統合保育所・幼稚園建設のため、造成工事を行うとともに、新築工事に着手した。 仮設により運営している保育所については、新施設開所までの間、仮設保育所にて児童を保育するため、園舎のリース料を支払った。			
	<支払内訳>			
	○ 役員費			
	・ 建築確認申請手数料	325	千円	
	○ 委託料			
	・ 分筆登記委託料	309	千円	
	○ 使用料及び賃借料			
	・ 仮設保育所借上料	2,885	千円	
	○ 工事請負費			
	・ 久美浜統合保育所用地造成工事	41,722	千円	
・ 建築主体工事 (前払金)	150,000	千円		
・ 電気設備工事 (前払金)	34,770	千円		
・ 機械設備工事 (前払金)	32,760	千円		
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	262,772千円	
		実質的な予算執行率	99.9%	
	■平成26年度への繰越事業			
	・ 各種手数料	※平成26年11月完成予定	221	千円
	・ 監理委託料	※平成26年11月完成予定	11,006	千円
	・ 新築工事費	※平成26年11月完成予定	526,448	千円
	・ 水道加入分担金	※平成26年11月完成予定	654	千円
主な財源	府補	林業・木材産業等振興施設整備交付金	35,434	千円
	市債	児童福祉施設整備事業債 (施設整備事業債(一般財源化分))	47,900	千円
	市債	児童福祉施設整備事業債 (合併特例債)	16,000	千円
	市債	児童福祉施設整備事業債 (過疎対策債)	159,200	千円
	市債	過疎地域自立促進特別事業債 (過疎対策債)	2,800	千円
評価・課題等	新築工事に向けた造成工事を実施するとともに、新施設建設に着手することができた。			
	事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	10久美浜統合保育所整備事業
細事業名	01 久美浜統合保育所整備事業 (繰越)			決算書 P.158
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額
36,102千円	37,688千円	1,586千円	95.7%	37,688千円
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、湊、田村、神野の3保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度から引き続き建設用地を購入し、造成工事に向けて、地質調査や用地の測量、整地・排水の設計を行った。			
	<支払内訳>			
	○ 委託料			
	・ 実施設計委託料	10,481	千円	
		(仮称)久美浜統合保育所・幼稚園新築工事設計業務		
	・ 測量委託料	1,241	千円	
		用地測量、境界確定手続き、登記業務など		
	・ 測量設計委託料	1,316	千円	
		整地設計、排水設計など		
	・ 地質調査委託料	3,033	千円	
	ボーリングによる地質調査			
○ 公有財産購入費				
・ 土地購入費	20,031	千円		
	(7地権者7筆/2,945.73㎡)			
主な財源	市債	児童福祉施設整備事業債 (施設整備事業債(一般財源化分))	3,600	千円
	市債	児童福祉施設整備事業債 (合併特例債)	2,700	千円
	市債	児童福祉施設整備事業債 (過疎対策債)	29,600	千円
	市債	児童福祉施設整備事業債 (過疎対策債)	29,600	千円
評価・課題等	新築工事に向け土地の取得、建設予定地の地質調査、測量設計を進めることができた。			
	事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	50保育所一般経費
細事業名	01 保育所一般経費			決算書 P.160
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
513,243千円	513,650千円	407千円	99.9%	562,752千円
目的	保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>保育所における保育を円滑に実施するため、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の資質向上のための研修経費を支出した。</p> <p>〔支出内容〕</p> <p>1. 保育所運営に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨時職員（保育士、調理員）賃金及び共済（社保、労災、雇保） 382,469千円 ○ 健康診断実施手数料（非常勤職員） 199千円 ○ 給食調理業務委託料（7保育所） 57,914千円 ○ 児童送迎運行、遠足等バス借上費用等 45,093千円 ○ 保育所用地借上料及び建物火災保険料 2,763千円 ○ 広域入所委託料（他市町村への入所委託費） ※実績4人 943千円 ○ NewTRY-X/Ⅱ子ども・子育て支援制度対応機能使用に係る負担金 1,190千円 ○ その他（日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか） 9,148千円 <p>2. 児童の健康管理に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 嘱託医報酬（内科9人、歯科12人）、費用弁償等 4,750千円 ○ 入所児童の尿・ぎょう虫検査手数料等 388千円 <p>3. 職員の研修に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等 468千円 <p>4. 一時預かり事業関係経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨時等職員賃金 7,918千円 延べ利用児童数 801人 （大宮南保育所477人、網野みなみ保育所205人、丹後保育所42人、こうりゅう保育所77人） 			
主な財源	負担金	保育料現年度分	263,846千円	
	国負	保育所運営費負担金（広域入所分1/2）	282千円	
	府負	保育所運営費負担金（広域入所分1/4）	141千円	
	府補	子育て支援特別対策事業費補助金	3,248千円	
	諸収入	広域入所児童受託保育料、延長保育料、保育所給食調理機器類貸付料ほか	7,540千円	
評価・課題等	保育所運営を実施するために必要な、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営に寄与することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	03生活保護費	01生活保護総務費	02生活保護運営管理事業																																																						
細事業名	01 生活保護運営管理事業			決算書 P.162																																																						
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																																																						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																																						
13,403千円	13,607千円	204千円	98.5%	9,843千円																																																						
目的	生活保護の実施機関として、生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適正に運営する。																																																									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活保護受給者の自立支援を目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援を行ったほか、手持金の少ない生活保護申請者に対し、一時的な生活資金の貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援員賃金（1人 週5日31時間勤務） 1,351千円 ・健康管理支援員賃金（1人 週4日28時間勤務） 1,296千円 ・面接相談員賃金（1人 週5日31時間勤務） 1,379千円 ・臨時職員任用に伴う共済費（社会保険料・雇用保険料） 590千円 ・生活保護申請者への一時支援資金貸付金（25件） 660千円 ・生活保護システム基準改定対応等改修経費 1,399千円 ・生活保護システム保守経費 577千円 ・医療扶助・介護扶助適正実施経費 813千円 （レセプト点検委託料、レセプト管理システム保守委託料、通信運搬費等） ・負担金・補助金の交付額確定に伴う過年度国庫支出金返還金 3,315千円 ・その他の経費（生活保護嘱託医報酬、旅費、需用費ほか） 2,023千円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>被保護世帯数</th> <th>被保護人員</th> <th>保護率</th> <th>面接相談件数</th> <th>申請件数</th> <th>開始件数</th> <th>却下・取下げ</th> <th>廃止件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>320世帯</td> <td>479人</td> <td>8.0%</td> <td>269件</td> <td>85件</td> <td>75件</td> <td>10件</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>351世帯</td> <td>542人</td> <td>9.2%</td> <td>236件</td> <td>102件</td> <td>80件</td> <td>22件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>371世帯</td> <td>561人</td> <td>9.7%</td> <td>182件</td> <td>64件</td> <td>50件</td> <td>14件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>394世帯</td> <td>588人</td> <td>10.3%</td> <td>224件</td> <td>69件</td> <td>55件</td> <td>14件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>390世帯</td> <td>579人</td> <td>10.3%</td> <td>164件</td> <td>56件</td> <td>44件</td> <td>12件</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保護率＝被保護人員／京丹後市人口、単位は1／1,000の％で表示（各年度3月末現在）</p>					被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下・取下げ	廃止件数	H21	320世帯	479人	8.0%	269件	85件	75件	10件	31件	H22	351世帯	542人	9.2%	236件	102件	80件	22件	46件	H23	371世帯	561人	9.7%	182件	64件	50件	14件	29件	H24	394世帯	588人	10.3%	224件	69件	55件	14件	36件	H25	390世帯	579人	10.3%	164件	56件	44件	12件	43件
	被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下・取下げ	廃止件数																																																		
H21	320世帯	479人	8.0%	269件	85件	75件	10件	31件																																																		
H22	351世帯	542人	9.2%	236件	102件	80件	22件	46件																																																		
H23	371世帯	561人	9.7%	182件	64件	50件	14件	29件																																																		
H24	394世帯	588人	10.3%	224件	69件	55件	14件	36件																																																		
H25	390世帯	579人	10.3%	164件	56件	44件	12件	43件																																																		
主な財源	国補	生活保護費補助金（10/10）	2,322千円																																																							
	府補	緊急雇用対策基金事業費補助金（10/10）	4,625千円																																																							
	諸収入	一時支援資金貸付金元金収入	660千円																																																							
評価・課題等	<p>○生活保護法に基づく事務を適正に行い、円滑な生活保護支給事業の運営に努めた。</p> <p>○今後も、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立助長を進めるとともに、レセプト管理システムの活用等により、支給額の大きい医療扶助費の適正化に努める必要がある。</p>																																																									
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																																																									

予算科目	03民生費	03生活保護費	02生活保護扶助費	01生活保護費支給事業											
細事業名	01 生活保護費支給事業											決算書	P.164		
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市				計画項目 ④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進										
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)		執行率		(参考)当初予算額								
757,361千円	757,582千円		221千円		99.9%		737,463千円								
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して、経済的援助を行うことにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その世帯の自立を支援する。														
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給している。また、経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行っている。 平成25年度は、申請件数・開始件数とも減少し、平成24年度に比べ、受給世帯は4世帯・9人の減となったが、医療扶助費の増により、支給額は44,337千円増加となった。														
	【生活保護世帯の状況】 (各年度とも3月末日の数値) (単位：世帯、人)														
		峰山町		大宮町		網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町		合計	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
	H21	93	137	50	72	87	139	29	38	20	32	41	61	320	479
	H22	90	131	55	85	98	160	31	40	27	45	50	81	351	542
	H23	97	138	57	84	107	167	35	46	30	48	45	78	371	561
	H24	104	156	61	86	113	167	36	50	32	51	48	78	394	588
	H25	103	152	66	98	109	167	35	48	29	44	48	70	390	579
	【生活保護費の支給状況】 (単位：千円)														
	生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	出産扶助費	生業扶助費	葬祭扶助費	施設事務費	合計					
H21	169,717	58,542	4,184	10,116	358,805	55	3,202	0	5,385	610,006					
H22	201,478	71,113	5,072	14,137	418,096	0	4,416	0	4,678	718,990					
H23	204,754	74,533	5,622	20,265	399,370	0	4,001	616	3,884	713,045					
H24	210,914	81,946	4,633	22,633	385,415	245	3,615	2	3,621	713,024					
H25	210,540	85,783	6,185	18,684	429,369	33	3,290	185	3,292	757,361					
主な 財源	国負	生活保護費負担金 (3/4)										582,056千円			
	府負	生活保護費負担金 (府費負担となる扶助費支給額の1/4)										264千円			
	諸収入	生活保護費返還金										7,969千円			
	諸収入	生活保護費徴収金										1,917千円			
評価 ・ 課題等	○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。 ○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。														
	事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課													

予算科目	03民生費	04災害救助費	01災害救助費	02被災者対策住宅復旧資金利子補給事業											
細事業名	01 被災者対策住宅復旧資金利子補給金											決算書	P.164		
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市				計画項目 ④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進										
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)		執行率		(参考)当初予算額								
32千円	50千円		18千円		64.0%		50千円								
目的	借入金の利子補給金を交付することにより、被災住宅の早期復旧を支援する。														
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	平成18年7月豪雨により住宅に被害を受けた市民に、被災住宅の早期復旧を支援するために、その復旧のための借入金に対して利子補給金を交付した。														
	○事業内容 利子補給金 (平成18年7月豪雨) 1件 32千円 丹後町 1件														
	※平成25年度が最終年度														
主な 財源															
評価 ・ 課題等	被災された市民に利子補給金を交付することにより、被災住宅の早期復旧を支援することができた。														
	事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課													